

## 設置計画の概要

事項	記 入 欄
設置手続きの種類	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ 設置者	コクリツダイガクホウジン オカヤマダイガク 国立大学法人 岡山大学
フリガナ 大学の名称	オカヤマダイガク 岡山大学 (Okayama University)
新設学部等において 養成する人材像	<p><b>【機械システム系学科】</b></p> <p>① 機械システムに関する基盤的な知識を身につけさせた上で、コースごとに専門的な教育を行う。機械工学コースでは、機械工学に関するミクロからマクロまでの様々な面からその基礎を学び、モノを造るための最先端の技術を身につけた人材を養成する。システム工学コースでは、生産システム・機械システム・ロボットシステムなどを、人と機械が調和するように開発・構築・運用することができる人材を養成する。</p> <p>② 機械工学やシステム工学を系統的に教育し、環境や人間に優しく安全な機械を実現するための技術開発や機械要素・機械装置・ロボット・システム・ヒューマンインタフェースを設計・管理・運用したり、機械やシステムを用いたサービスの開発を行うことができる課題探求能力およびデザイン能力を習得させる。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業(自動車等の輸送用機械製造業、一般機械器具製造業及び電子部品・デバイス製造業などの分野)での技術者としての活躍が期待される。</p> <p><b>【電気通信系学科】</b></p> <p>① 電気電子工学や通信ネットワーク工学に関する基盤的な知識を身に付けさせた上で、コースごとに専門的な教育を行う。電気電子工学コースでは、高度情報化社会を支える通信・情報・計測・システム制御や省エネルギー・電子デバイスなどの技術を身に付けた人材を養成する。通信ネットワーク工学コースでは、通信ネットワーク工学の基礎を深く学び、情報通信技術に精通した人材を養成する。</p> <p>② 電気電子工学および通信ネットワーク工学の全般に関して基礎的な知識を有し、国際的な視野に立って電気、電子、通信、ネットワーク関連の諸問題を的確かつ迅速に整理・把握し、独創的な手法により解決することができる能力を習得させる。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業(電子部品・デバイス製造業、電気・情報通信機械器具製造業、情報通信業などの分野)での技術者としての活躍が期待される。</p> <p><b>【情報系学科】</b></p> <p>① 情報工学に関する基盤的な知識を身に付けさせた上で、コースごとに専門的な教育を行う。計算機工学コースでは、コンピュータの仕組みや動作の基本原則を理解し、応用できる能力を持った人材を養成する。知能ソフトウェアコースでは、コンピュータを利用した高度情報処理システムの専門家を養成する。</p> <p>② 情報工学に関わる様々な知識を、理論と実習のバランスをとりながら系統的に教育し、情報工学に基づく技術、コンピュータシステムやソフトウェアシステムの設計・運用、高度情報処理を行うことができる能力を習得させる。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業(主に情報通信業の分野)での技術者としての活躍が期待される。</p> <p><b>【化学生命系学科】</b></p> <p>① 材料・プロセス、合成化学、生命工学に関する基盤的な知識を身に付けさせた上で、コースごとに専門的な教育を行う。材料・プロセスコースでは、新しい化学技術や物質を創造でき、実際の産業に不可欠な装置設計など実務能力を持った人材を育成する。合成化学コースでは、新しい分子や物質を創造し、機能性物質を設計することができる能力を持った人材を養成する。生命工学コースでは、生物や生命現象が巧妙に利用している分子や原理の基礎知識と理解力を身につけ、バイオテクノロジー分野をはじめとするあらゆる関連領域へ柔軟に応用していく人材を育成する。</p> <p>② 物質の構造や物性、化学結合や化学反応などの本質と基本原理、また、生物や生命現象が巧妙に利用している分子や原理の基礎知識を身に付けさせ、技術開発のための情報収集、研究計画、実行、公表(コミュニケーション)の能力を習得させる。</p> <p>③ 卒業後は、大学院進学や民間企業(化学工業を中心とした石油・石炭製品製造業などの分野)での技術者としての活躍が期待される。</p>

事 項	記 入 欄
既設学部等において養成する人材像	<p>【機械工学科】 機械そのもの、並びにそれを使ってモノ、サービスをつくりだすプロセスを、設計し、維持し、発展させるという、社会にとって無くてはならない役割を担うことができる技術者を養成する。</p> <p>【物質応用化学科】 高度情報化(IT)、人工の急激な増大化、エネルギー・資源の枯渇化、地球環境問題などの大きな問題の解決に重要な役割を果たす化学の教育を通じて、人類の発展と幸福に貢献できる優れた化学技術者・化学研究者を、最先端の研究に基づいた教育活動により養成する。</p> <p>【電気電子工学科】 電気・電子工学についての充実した基礎学力を身に付け、技術の進歩に息長く対応でき、かつ思考能力、問題解決能力、更には広範な視野と良識、倫理観を備えた、常に第一線で活躍できる研究者、技術者を養成する。</p> <p>【情報工学科】 コンピュータの基礎理論、プログラミング、コンピュータの構成論、人工知能、知能システムなどに関するカリキュラムを通じて育成される専門的な力量を基本に、総合的な視野と倫理観を持ち、社会における役割を担える自律的な技術者の養成を行う。</p> <p>【生物機能工学科】 生物工学の広い領域をしっかりとした座標の上で把握し、柔軟に多種多様な諸問題に果敢に挑戦するための基礎学問並びにチャレンジングな精神を備えた、常に最前線で活躍できる研究者、技術者を養成する。</p> <p>【システム工学科】 人に安全で優しい機械システムの構築を目標として、ロボットや人間-機械システムなど種々の知能化システムの開発・設計及びその関連技術を教授し、さらに、システム工学の専門知識とあわせて、広範な視野と良識、倫理観、社会貢献についての視点を明確にできる能力を持ち、自ら課題を設定できる課題探求型人材を養成する。</p> <p>【通信ネットワーク工学科】 国際的な視野に立って情報通信関連の諸問題を的確かつ迅速に整理・把握し、独創的な手法により解決できる能力と、社会人としての豊かな人間性と時代にマッチした感性とを備えた人材を養成する。</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【全学科】 ・安全管理者 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 工学部卒業生で、その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって、厚生労働大臣の定める研修を修了した者</p> <p>【機械システム系学科、電気通信系学科、化学生命系学科】 ・高等学校教諭一種(工業) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【電気通信系学科、情報系学科】 ・高等学校教諭一種(情報) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【機械システム系学科、電気通信系学科】 ・技術士補 ① 国家資格、② 登録により資格取得可能 ③ JABEE認定を受けたカリキュラムを履修すること。</p> <p>【化学生命系学科】 ・高等学校教諭一種(理科) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【機械システム系学科】 ・ボイラー技士 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 在学中にボイラーに関する学科を履修した者であって、下記の実地修習を経た者 特級ボイラー技士：卒業後ボイラーの取扱いについて2年以上の実地修習を経た者 一級ボイラー技士：卒業後ボイラーの取扱いについて1年以上の実地修習を経た者</p> <p>【電気通信系学科】 ・電気主任技術者 ① 国家資格、② 所定の単位を修得し、卒業後実務経験年数により資格取得可能 ③ 所定の単位を修得し、卒業後実務経験年数により申請</p> <p>【化学生命系学科】 ・危険物取扱者 ① 国家資格、② 甲種危険物取扱者試験の受験可能 ③ 本学科を卒業すること。 化学に関する授業科目を通算して15単位以上履修した者</p> <p>【化学生命系学科】 ・毒物劇物取扱責任者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 本学科を卒業すること。</p>
既設学部等において取得可能な資格	<p>【機械工学科】 ・高等学校教諭一種(工業) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>・安全管理者 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 工学部卒業生で、その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって、厚生労働大臣の定める研修を修了した者</p> <p>・技術士補 ① 国家資格、② 登録により資格取得可能 ③ JABEE認定を受けたカリキュラムを履修すること。</p> <p>・ボイラー技士 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 在学中にボイラーに関する学科を履修した者であって、下記の実地修習を経た者 特級ボイラー技士：卒業後ボイラーの取扱いについて2年以上の実地修習を経た者 一級ボイラー技士：卒業後ボイラーの取扱いについて1年以上の実地修習を経た者</p>

事 項	記 入 欄
<p>既 設 学 部 等 に お い て 取 得 可 能 な 資 格</p>	<p><b>【物質応用化学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校教諭一種（工業・理科） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・ 安全管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> <li>・ 危険物取扱者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 甲種危険物取扱者試験の受験可能</li> <li>③ 本学科を卒業すること。</li> </ul> </li> </ul> <p>化学に関する授業科目を通算して15単位以上履修した者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毒物劇物取扱責任者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 本学科を卒業すること。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【電気電子工学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校教諭一種（工業） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・ 安全管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> <li>・ 技術士補 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 登録により資格取得可能</li> <li>③ JABEE認定を受けたカリキュラムを履修すること。</li> </ul> </li> <li>・ 電気主任技術者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 所定の単位を修得し，卒業後実務経験年数により資格取得可能</li> <li>③ 所定の単位を修得し，卒業後実務経験年数により申請</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【情報工学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校教諭一種（情報） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・ 安全管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【生物機能工学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校教諭一種（工業，理科） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・ 安全管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> <li>・ 危険物取扱者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 甲種危険物取扱者試験の受験可能</li> <li>③ 本学科を卒業すること。</li> </ul> </li> </ul> <p>化学に関する授業科目を通算して15単位以上履修した者</p> <p><b>【システム工学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校教諭一種（工業） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・ 安全管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> <li>・ 技術士補 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 登録により資格取得可能</li> <li>③ JABEE認定を受けたカリキュラムを履修すること。</li> </ul> </li> </ul>

事項		記入欄										
既設学部等において取得可能な資格		<p>【通信ネットワーク工学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校教諭一種（情報）               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか，教職関連科目の履修が必要</li> </ul> </li> <li>・安全管理者               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格，② 受験資格取得可能</li> <li>③ 工学部卒業生で，その後2年以上産業安全の実務を経験した者であって，厚生労働大臣の定める研修を修了した者</li> </ul> </li> </ul>										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			
						学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授	
	工学部	機械システム系学科	4	160	3年次 30	640	学士(工学)	工学関係	平成23年 4月	工学部機械工学科	27	10
	電気通信系学科	4	100	400	学士(工学)	工学関係	平成23年 4月	工学部電気電子工学科	21	8		
	情報系学科	4	60	240	学士(工学)	工学関係	平成23年 4月	工学部情報工学科	19	6		
	化学生命系学科	4	140	560	学士(工学)	工学関係	平成23年 4月	工学部物質応用化学科	23	6		
	合計	—	460	30	1,900	—	—	—				
既設学部等の概要（現在の状況）	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			
						学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授	
	工学部	機械工学科(廃止)	4	80	3年次 30	320	学士(工学)	工学関係	平成8年 4月	機械システム系学科	27	10
	物質応用化学科(廃止)	4	60	240	学士(工学)	工学関係	平成12年 4月	化学生命系学科	23	6		
	電気電子工学科(廃止)	4	60	240	学士(工学)	工学関係	平成12年 4月	電気通信系学科	21	8		
	情報工学科(廃止)	4	60	240	学士(工学)	工学関係	平成12年 4月	情報系学科	19	6		
	生物機能工学科(廃止)	4	80	320	学士(工学)	工学関係	平成8年 4月	化学生命系学科	24	8		
	システム工学科(廃止)	4	80	320	学士(工学)	工学関係	平成8年 4月	機械システム系学科	22	8		
	通信ネットワーク工学科(廃止)	4	40	160	学士(工学)	工学関係	平成12年 4月	電気通信系学科	14	5		
	合計	—	460	30	1,900	—	—	—				
【備考欄】												

教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部機械システム系学科) 新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	機械系概論	1前	1			○			1						
	化学生命系概論	1前	1			○									兼1
	電気通信系概論	1前	1			○									兼1
	情報系概論	1前	1			○									兼1
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—			1						兼3
教養教育科目 主題科目	【「現代の課題」グループ科目】														
	哲学の展開	1~4前後		2		○									兼1
	哲学へのいざない	1~4前後		2		○									兼1
	日本の美—その造形の特徴について	1~4前後		2		○									兼1
	美術と呪術	1~4前後		2		○									兼1
	ジェンダーを考える	1~4前後		2		○									兼1
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2		○									兼1
	地球温暖化とサンゴ礁	1~4前後		2		○									兼1
	マイノリティと経済—開発途上国を中心に	1~4前後		2		○									兼1
	戦略と情報の経済学	1~4前後		2		○									兼1
	民族問題を再考する	1~4前後		2		○									兼1
	現代数学の問題	1~4前後		2		○									兼1
	統計の考え方	1~4前後		2		○									兼1
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2		○									兼1
	生命科学入門	1~4前後		2		○									兼1
	脳と心	1~4前後		2		○									兼1
	自然界の法則を探る	1~4前後		2		○									兼1
	環境と地域社会を考える	1~4前後		2		○									兼1
	教養特別講義 1	1~4前後		2		○									兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2		○									兼1
	君は頭がよくなりたいか—発信力—	1~4前後		2		○									兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2		○									兼1
	自然災害と環境問題	1~4前後		2		○									兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座 I (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座 II (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習 I (ニュースを読み解く—実践的メディア論)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習 II (地球と共に考える)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習 III (専門スキルを身につける①)	1~4前後		2		○									兼1
	ビジネスパーソン入門	1~4前後		2		○									兼1
	【「人間と社会」グループ科目】														
	オペラの中の女性像	1~4前後		2		○									兼1
	デザインの周辺	1~4前後		2		○									兼1
	愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1~4前後		2		○									兼1
	生きる (その一)・・・愛すること	1~4前後		2		○									兼1
生きる (その二)・・・愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1	
生きる (その四)・・・他者と生きる	1~4前後		2		○									兼1	
生活とモノづくり	1~4前後		2		○									兼1	
彫刻入門	1~4前後		2		○									兼1	
哲学とファンタジー	1~4前後		2		○									兼1	
日本の伝統芸能	1~4前後		2		○									兼1	
明治美術と西洋	1~4前後		2		○									兼1	
レトリックと認識・発想	1~4前後		2		○									兼1	
六朝と唐の文学	1~4前後		2		○									兼1	
岡山の作家とその文学世界	1~4前後		2		○									兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	言語学入門	1～4前後		2		○									兼1
	社会生活と言語	1～4前後		2		○									兼1
	中国古典白話小説の世界	1～4前後		2		○									兼1
	万葉わらべうた	1～4前後		2		○									兼1
	近世初期のヨーロッパと世界	1～4前後		2		○									兼1
	ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	行動分析学入門	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	自尊感情の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	創造性の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	地理学の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	日本とコリア	1～4前後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1～4前後		2		○									兼1
	市民のための法と裁判	1～4前後		2		○									兼1
	情報の法律問題	1～4前後		2		○									兼1
	政治思想史入門	1～4前後		2		○									兼1
	日本の刑事裁判	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	法律と証券の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	冷戦後の国際社会	1～4前後		2		○									兼1
	アジア経済	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際協力入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2		○									兼1
	政府開発援助（ODA）を考える	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の文法とコミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の歴史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語文化論	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財ー伝統芸術に焦点をあててー	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	開発援助概論及び日本の援助の事例	1～4前後		2		○									兼1
	戦後の日本の経験と国際協力	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	【「健やかに生きる」グループ科目】														
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1
	社会保障	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
病気の医学検査ー体の異常はどこまで解るか？ー	1～4前後		2		○									兼1	
健康と病気	1～4前後		2		○									兼1	
環境と健康	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
こどもと命と健康	1～4前後		2		○									兼1	
学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1	
成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1	
口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1	
	創薬の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
	生命科学：入門と基礎	1～4前後		2		○									兼1	
	細胞の増え方ー発生と癌化の分子メカニズムー	1～4前後		2		○									兼1	
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	現代暗号と数学	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	化学のフロンティア	1～4前後		2		○										兼1
	生活と環境の化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の生物学	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	地球と惑星の気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	実践パーソナル・コンピューティング入門	1～4前後		2		○										兼1
	テレビゲームからみる情報科学概論	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	小計（161科目）		—		318	0		—								兼161
	個別科目	【人文・社会科学系科目】														
		哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1
		日本の思想	1～2前後		2		○									兼1
		ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1
		西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	絵画入門	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	Fine Woodworking	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語音声言語の表現	1～2前後		2		○									兼1	
	南オレゴン地域研究	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパを見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	映像でみる20世紀の日本と世界(1)	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係とコミュニケーション	1～2前後		2		○									兼1	
	芸能・祭からみた世界	1～2前後		2		○									兼1	
	日本国憲法	1～2前後		2		○									兼1	
	世界経済の発展と21世紀の展望	1～2前後		2		○									兼1	
	地域経済と農業	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育とコンピュータ	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理学	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学A(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学(量子力学)	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学(生物学入門)	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門(実習を含む)	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	先進科学体験	1～2前後		1					○							兼1
	初等数学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等物理学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等化学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
初等生物学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外	
<b>【生命・保健科学系科目】</b>																
健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1	
スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
個別科目	【情報科学系科目】																
	情報処理入門 (情報機器の操作を含む)	1～4前後	2				○								兼1		
	情報処理入門	1～4前後		2			○								兼1		
	小計 (66科目)	—	2	110	8		—								兼66		
教養教育科目	外国語科目	英語 (工学部)	1前	2			○									兼1	
		英語 (ネイティブ)	1後	2			○									兼1	
		英語 (オラコン) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (作文・文法) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (読解) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (検定) ※	2前後		2			○								兼1	
		上級英語	1～4前後		2			○								兼1	
		英語特別演習 1	3～4前後		2				○							兼1	
		英語特別演習 2	3～4前後		2				○							兼1	
		基礎英語	1～4前後			2		○								兼1	卒業要件外
		ドイツ語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語中級	2前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語中級	2前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語中級	2前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語中級	2前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		日本語 A	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 B	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 C	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 D	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
	小計 (55科目)	—	4	116	2		—								兼55		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分※	1前	2			○			1	2					兼5※の 兼6専門基礎 科目につ いては、 兼2学部共通 兼1で、 1授業科 目につき 兼53～8クラス 兼6開講予定 兼6 兼6 兼4 兼2 兼2
	線形代数※	1前	2			○			1	2					
	工学基礎実験実習	1前	2					○		1		8			
	工学安全教育	1後	2			○			2			2			
	工学倫理※	3前	2			○									
	専門英語	3前	2			○			1	5	3	3			
	技術表現法	3後	2			○			2						
	物理学基礎1(力学)※	1後		2		○			1	1	1				
	物理学基礎2(電磁気+電気回路(直流))※	1後		2		○			1						
	化学基礎※	1後		2		○									
	生物学基礎※	1後		2		○									
	プログラミング※	1後		2		○				1	1	1			
	確率統計※	1後		2		○			1	2					
	微分方程式※	1後		2		○			1	1					
小計(14科目)	—		14	14	0	—	—	11	15	5	14		兼45		
専門科目(学科専門科目)	機械工作実習	2通	2					○		1		2		兼1	
	基本機械システム製図	2前	1			○						3			
	機械工作法	2前	2			○			1						
	基礎制御理論	2後	2			○			1						
	フーリエラプラス変換	2前	2			○			1	1					
	ベクトル・複素解析	2前	2			○			2						
	熱力学I	2前	2			○			1						
	材料力学I	2前	2			○			1		1				
	生産システム基礎論	2後	2			○			1						
	流体力学I	2後	2			○			1						
	電子回路	2前	2			○			1						
	振動工学	3前	2			○		○	1	1					
	特別研究	4通	10						18	13	4	14			
	偏微分方程式	2前		2		○						1			
	機械加工学	2後		2		○					1				
	機械システム工学セミナーI	2後		1		○								兼8	
	機械システム工学セミナーII	3前		1		○								兼8	
	計測工学	3前		2		○					1				
	MOT入門	3前		2		○			1						
	工業力学	2後		2		○			1	1					
画像認識学	3前		2		○					1					
モデリング論	2前		2		○					1					
生産システム知能化論	3前		2		○					1					
基礎ロボット制御	3前		2		○			1							
インターンシップ	3前		2				○	1			1				
小計(25科目)	—		33	22	0	—	—	18	13	4	14		兼17		
専門科目(機械工学コース専門科目)	創成プロジェクト	2後	1			○				3		7			
	創造工学実験	3通	2					○		2		3			
	機械工学英語	3後	2			○				2				兼1	
	熱力学II	2後		2		○				1					
	材料力学II	2後		2		○			1						
	材料工学入門	2後		2		○			1						
	伝熱学	3前		2		○			1						
	機械設計学	3前		2		○			1						
	流体力学II	3後		2		○			1						
	CAD	2後		2		○				2					
	機構学	2後		2		○			1						
	内燃機関	3後		2		○			1						
	材料強度学	3前		2		○				1					
	特殊加工学	3前		2		○				1					
数値計算法	3後		2		○				1						
機械設計製図	3後		2		○			2	1				兼1		
機械材料工学	3後		2		○			1							
潜熱移動学	3後		2		○			1							
塑性工学	3後		2		○				1						
小計(19科目)	—		5	32	0	—	—	10	9		8		兼2		



## 設置の趣旨・必要性

- ①自主的な学習能力，探求能力の育成
- ②柔軟で総合的な判断能力の育成
- ③倫理観，社会貢献する態度の育成
- ④外国語及び情報活用能力の育成
- ⑤豊かな人間性の育成

この教育理念の実現のために，専門への導入教育や英語コミュニケーションなど基礎的な教育に力を入れ，系統的な科目配置による丁寧な専門教育を行い，学生実験，特別研究や創成プロジェクトなどによる問題発見・課題探求の教育でも実績も挙げてきた。しかし，科学技術の高度化・専門化・細分化を反映して，工学部の教育でも専門知識の修得に力を注ぐようになり，学ぶ内容がややもすれば専門分野に偏り，狭くなる傾向が現れていた。

また，本学でこれまで実施されてきた授業評価アンケート等の学生と教育についての各種調査を整理すると，次のような問題点が浮き彫りとなってきた。

- ①転学部や転学科を考えたことのある学生の割合が約29%で全学平均より5%高いこと。
- ②転学部の申請者の入学定員比率が平成16～21年度の5年間平均で，全学平均の1.9倍と高いこと。
- ③進路再考又は学業不振による休学の入学定員比率がそれぞれ全学平均の1.6倍（平成16～19年度）であり，同じ理由による退学は全学の82%を占めていること。また，留年率も全学平均の1.4倍（平成12～16年度）であること。
- ④授業に満足している学生の割合が全学平均よりも5%低いこと。

工学部が独自に設置している工学教育評価外部委員会においては，学部での教育について，工学の基礎を重視すると共に工学技術の幅広い基本知識の教育を行うこと，安全と倫理についての教育を行うことへの要望があった。

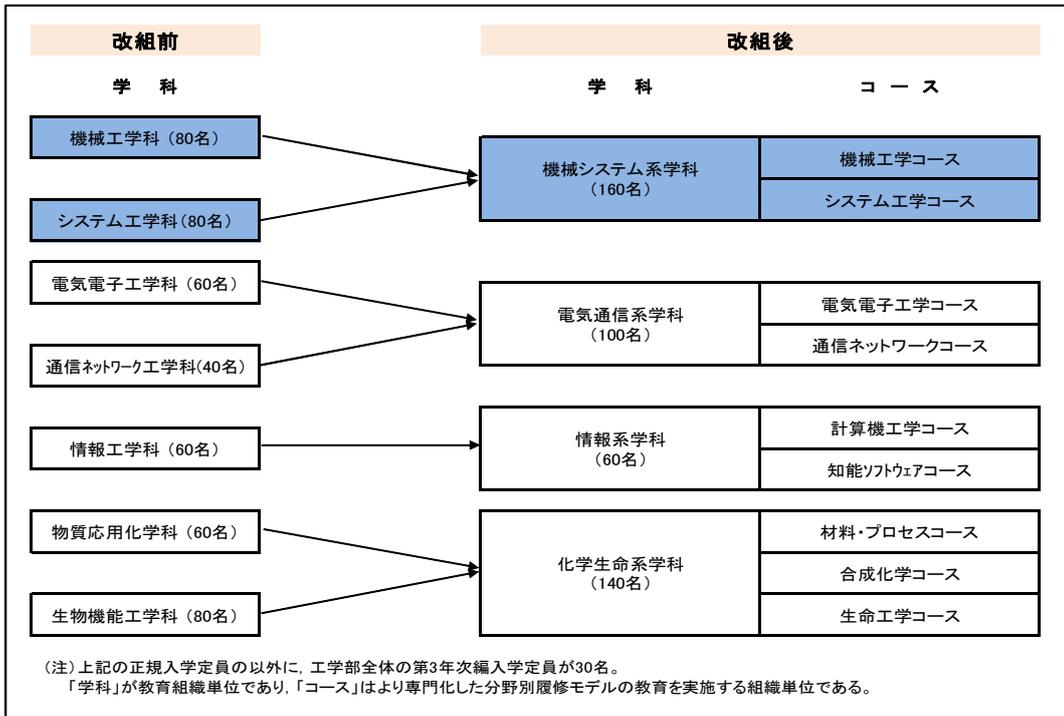
### (2) 工学部改組の趣旨

こうした状況の中で，「工学部の教育理念」の実現，特に「①自主的な学習能力，探求能力の育成」及び「②柔軟で総合的な判断能力の育成」のためには，幅広い工学技術についての基本的知識と能力を身につけることが重要であり，幅広い視野を持つことにより，専門分野での課題探求能力も一層高められると考えられる。また，技術者・研究者に必要な基礎的なスキルを身につけ，工学技術を幅広く学ぶこともできるようになることが大きな課題となっており，このための抜本的な教育改革が必要であるとの認識を形成するに至った。

工学部卒業者の大学院進学率の高まりを考慮して，専門性の高い内容の履修は大学院へ移すこととし，学部教育では，社会に出て仕事をする際の基礎能力として求められるコミュニケーション・スキル，情報処理能力などを修得し，技術者・研究者が基本的に身に付けるべき安全性知識，問題解決力，技術者倫理や，自然科学の基礎知識，及び工学技術の幅広い基本知識を重点的に修得し，その上に確かな専門基礎知識を築くように変革することが望ましいとの結論を得，以下の4項目を骨子とした改革を行うこととした。

- ①1～2年のうちにレスキューロボットや微細加工技術などの各分野での魅力的なトピックスを含む基本的な技術を示し，工学技術を広い視野で見ることができるようになること。
- ②学生の適性や希望に合わせた専門分野の選択を行うため，入学時には専門分野を大括りにしておき，内容をある程度把握した2年後期から専門のコースに振り分けること。
- ③専門性の高い内容は大学院の授業にも移すことにより，工学の専門領域の基礎となる幅広い基本的技術の知識を獲得することができるカリキュラム体系とすること。
- ④コミュニケーション能力，安全教育，工学倫理など，技術者として必須の内容について，工学部全体の共通科目として設けること。

これらの改善を行うためには，工学の基礎を十分に修得し，幅広く工学技術の基本的知識を身につけた後に，専門コースに分かれるように教育カリキュラムを改革することが必要である。岡山大学では，以上の理念に基づき，現在の工学部の7学科を4学科に再編し，各学科に2～3の専門コースを置く4学科9専門コースに再編するものである。現状と改組後の各学科の対応は，次表のとおりである。



(3) 機械システム系学科設置の趣旨及び名称

モノづくりを支える機械工学分野と、機械、人、情報、エネルギー、環境などのいろいろな要素を統合してシステム構築を行うシステム工学分野は、製造業の基盤をなす分野であり、その重要性は依然として高い。

そのため、

- ①従前の機械工学科とシステム工学科で培った教育・研究の基盤を最大限に活用するため
- ②両分野に共通する領域を視点の異なる教員が教育することにより、従来の学科での教育よりも幅広い教育を実施するため
- ③機械工学・システム工学の両分野の基礎を学ばせることにより、広い視野を持った学生を育てるため

機械、材料、熱、燃焼などを主とする機械工学コースと、ロボット、知的システム、生産システムなどを主とするシステム工学コースの2コースを設けて、専門性の高い教育を行うために、機械工学科とシステム工学科を改組し、1学科2コースに再編するものである。

本学科においては、環境や人間に優しく安全な機械を実現するために材料・機械加工・熱・流体・計測制御などの技術開発や、機械要素・機械装置・ロボット・システム・ヒューマンインターフェースなどの設計・管理・運用、また、機械やシステムを用いたサービスの創成や発展について教育を行う。

学科の名称については、上記のとおり機械工学分野とシステム工学分野に関する教育を行う学科であることを表すため、機械システム系学科とした。

(4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して2.7倍と1.09倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。機械システム系学科についても、改組前の機械工学科とシステム工学科の志願倍率は平均2.7倍、入学定員充足率は1.09倍である。

		H17	H18	H19	H20	H21	計
機械工学科	募集人員	80	80	80	80	80	400
	志願者数	229	239	207	210	229	1,114
	倍率	2.9	3.0	2.6	2.6	2.9	2.8
	入学者数	91	85	82	88	88	434
	充足率	1.14	1.06	1.03	1.10	1.10	1.09
システム工学科	募集人員	80	80	80	80	80	400
	志願者数	250	192	174	200	186	1,002
	倍率	3.1	2.4	2.2	2.5	2.3	2.5
	入学者数	85	89	87	88	88	437
	充足率	1.06	1.11	1.09	1.10	1.10	1.09
計	募集人員	160	160	160	160	160	800
	志願者数	479	431	381	410	415	2,116
	倍率	3.0	2.7	2.4	2.6	2.6	2.7
	入学者数	176	174	169	176	176	871
	充足率	1.10	1.09	1.06	1.10	1.10	1.09

本改組は、既存の7学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に専門コースを選択する4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は24,683件であり、就職希望者に対する求人倍率は5年平均で28.5倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.4%を確保している。改組前の機械工学科及びシステム工学科においても、求人数7,569件、求人倍率24.2倍、就職率96.5%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、工学教育評価外部委員会から要望のあった工学の基礎教育の充実や工学技術の幅広い基本知識の教育を図るものでもあるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

		H16	H17	H18	H19	H20	5年間計
機械工学科	就職希望者	26	39	31	28	20	144
	求人数	837	909	939	1,005	847	4,537
	求人倍率	32.2	23.3	30.3	35.9	42.4	31.5
	就職者	25	39	29	28	20	141
	就職率	96.2%	100.0%	93.5%	100.0%	100.0%	97.9%
システム工学科	就職希望者	36	31	33	27	42	169
	求人数	449	359	505	922	797	3,032
	求人倍率	12.5	11.6	15.3	34.1	19.0	17.9
	就職者	34	29	31	27	40	161
	就職率	94.4%	93.5%	93.9%	100.0%	95.2%	95.3%
計	就職希望者	62	70	64	55	62	313
	求人数	1,286	1,268	1,444	1,927	1,644	7,569
	求人倍率	20.7	18.1	22.6	35.0	26.5	24.2
	就職者	59	68	60	55	60	302
	就職率	95.2%	97.1%	93.8%	100.0%	96.8%	96.5%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を、160人に設定した。

## (5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### (1) 教育課程編成の考え方

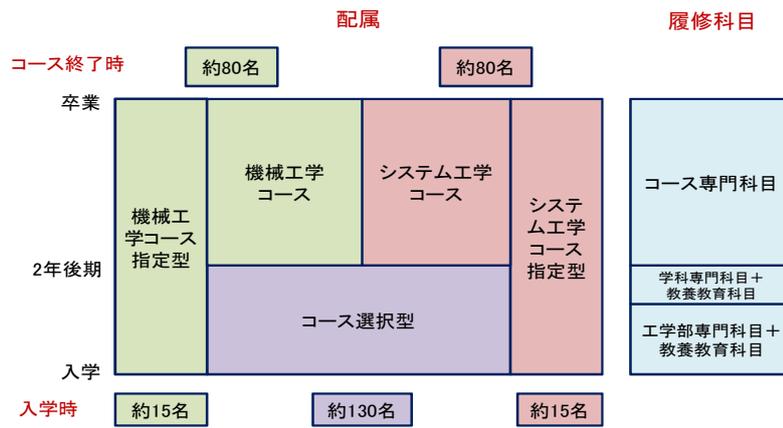
Iに掲げた教育改革が成功するには、その教育を受ける学生が、自身の属する学科またはコースの専門分野に興味を抱き、学ぶ意欲が高いことが前提となり、専門分野との整合性が高いほど教育効果も高くなる。しかし、科学技術の高度化・複雑化により、大学の特に理系の学部・学科の専門分野の内容が一般社会から見えにくくなってきており、高校から大学へ進学する若者の未熟化傾向が相まって、大学入学時に志望の専門分野を決めかねる学生の割合が増えていることが問題となっている。

このような状況を踏まえ、「学生がモチベーションを維持」しつつ、「工学部各学科の専門内容を理解した上で」、「自身とマッチングの取れた専門分野を選んで進む」ことができ、かつ同時に「幅広い工学技術の基本的知識を身に付けていく」ことができることが望ましい。

このため、岡山大学では、現在の工学部を改組した新しい4学科の構成で新入生を受け入れ、2年後期には学生自らの志望を決めることができるように、次の4つの基本的な考え方でカリキュラムを構成する。

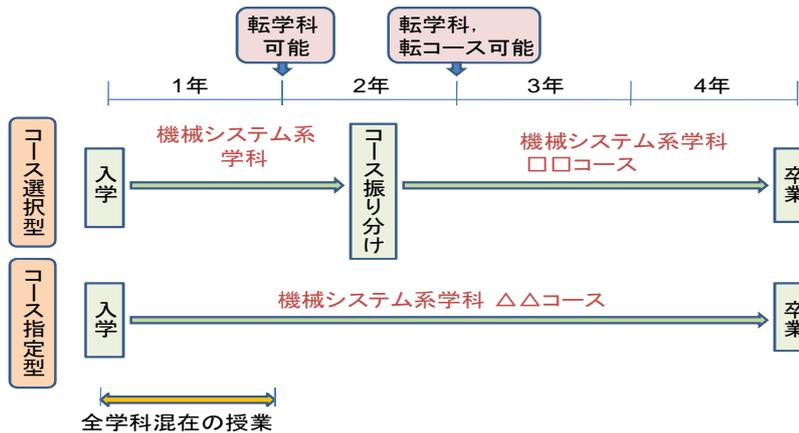
- ① 2年前期までに、広い工学的素養を身に付けるため、各専門分野の基本的な内容を学ぶ。
- ② 2年後期から専門性を高めた内容を学ぶために、各学科で学生の志望を基にコースに振り分ける。(コース選択型)
- ③ 学部共通科目や学科共通科目を設定することにより、2年後期までの履修科目を出来る限り共通化する。学生に対する各学科・コースについての丁寧な説明にもかかわらず生じうる分野変更希望者に対して、モチベーションを維持できるように転学科、転コースを容易化し、この共通化により、分野変更後の追加的な科目履修の負担を減らす。
- ④ また、大学入学時から学びたい専門分野が明確になっている学生については、入学時に将来の専門のコースを決めておくことができるようにし、モチベーションを維持し、より高めることができるようにする。(コース指定型)

機械システム系学科(入学定員160名)における学生配属と科目履修



1年次では、全学科混在で授業を行う。  
 コース指定型は、入学定員の15～20%とする。また、コース選択型を各コースに振り分ける時は、  
 学生の希望を尊重するが、各コースでの教育に支障がないよう人数の調整を行うことがある。

入学から卒業までの学科・コースの所属



(2) 幅広い学びを保证するための教育

工学の徹底した基礎教育と幅広い基本技術の知識の獲得を実現するため、学生が技術者・研究者として必要な基礎的スキルを身につけ、工学技術を幅広く学んだ上で、十分な専門基礎知識を習得することができるような教育システムを構築する。その課程においては、講義だけでなく、物に触れ、体験して学習する演習・実験科目にも重きを置く。改組後の1年次から4年次までの教育課程の概要は以下のとおり。

1年次には、主に教養教育科目と全学科に共通の「専門基礎科目」を履修する。専門基礎科目としては、次に掲げる教育を行う。

- ・社会人として必要な基礎的素養・能力・・・日本語と英語のプレゼンテーション力、基本的な情報処理能力、工学倫理、工学安全知識
- ・自然科学の基礎知識・・・物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微分積分学、線形代数、確率統計、微分方程式
- ・幅広い工学の基礎的知識・・・工学部の9つのコース専門分野の重要基本技術（自動車、インターネットなど）についての系統的な概論、プログラミング、4つの学科ごとの基礎実験実習

2年次には、教養教育科目と、コース振り分け前の前期には各学科ごとに共通の熱力学Ⅰや材料力学Ⅰなどの「学科専門科目」を、後期には、流体力学Ⅰや基礎制御理論などの学科専門科目と熱力学Ⅱ、材料力学Ⅱ、システムCADや知能ロボット運用論などのコースに固有の専門基礎科目である「コース専門科目」を履修する。

3年次には、創造工学実験、機械設計学、内燃機関、ロボット工学実験、システム信頼性工学などのコース専門科目の履修により専門能力を高める。その際、他の学科・コースの学科専門科目・コース専門科目をも積極的に受講するようにする。

4年次には、福祉機械工学や人工知能基礎学などのコース専門科目の履修により専門能力を一層高めると共に、特別研究を行って課題発見・探求能力、自主的学習力・デザイン力・プレゼンテーション力などを総合的に身につける。

(3) 社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制

岡山大学では、学生が自分の適性・能力・価値観に応じた進路が選択できるよう、学生支援センターキャリア支援室を設置し、各学部と連携を取りながら行事主催や情報発信、個別指導による就職支援や進路・就職相談を行っている。授業科目としては、教養教育科目として、学生が将来の職業を意識し、自己の個性を理解した上で主体的に進路選択ができるようキャリア形成基礎講座やキャリア形成総合演習を実施しているほか、インターンシップを実施している。

工学部機械システム系学科においては、学科専門科目として機械システム工学セミナーⅠ及びⅡにおいて学外から10名程度の講師を招いて、通常の大学の教員による講義では聴くことのできない社会や企業の最近の動向、工学の現場のトピックス、技術者・研究者としての体験等について講義を受け、工場見学等現場を見学する機会を設ける。この科目により機械工学に対する視野を広め、職業としての機械技術者には世の中でいかなることが要求されるか等を各自考え、今後の授業・研究や進路選択等に役立たせる。

また、岡山経済同友会等の協力を得て、学科専門科目としてインターンシップを設定しており、学生を公共団体や企業に派遣する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間56単位とする。 ○教養教育科目 以下の条件を満たして32単位以上修得する。 必修科目10単位 ガイダンス科目4単位 情報処理入門（情報機器の操作を含む）2単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位 選択科目：主題科目8単位（3以上のグループにわたること） 個別科目の自然科学系科目4単位 外国語科目の英語※の科目のうち4単位（2科目） その他の外国語科目の選択科目から4単位 上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位 ○専門教育科目 機械工学コース及びシステム工学コース共通し、以下の条件を満たして94単位以上修得する。 必修科目52単位 専門基礎科目14単位 学科専門科目33単位 コース専門科目5単位 選択科目：専門基礎科目8単位 学科専門科目12単位 コース専門科目22単位	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部電気通信系学科) 新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ガイダンス科目	機械系概論	1前	1			○									兼1	
	化学生命系概論	1前	1			○									兼1	
	電気通信系概論	1前	1			○			1							
	情報系概論	1前	1			○									兼1	
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—			1						兼3	
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>															
	哲学の展開	1~4前後		2		○									兼1	
	哲学へのいざない	1~4前後		2		○									兼1	
	日本の美—その造形の特質について	1~4前後		2		○									兼1	
	美術と呪術	1~4前後		2		○									兼1	
	ジェンダーを考える	1~4前後		2		○									兼1	
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2		○									兼1	
	地球温暖化とサンゴ礁	1~4前後		2		○									兼1	
	マイノリティと経済—開発途上国を中心に	1~4前後		2		○									兼1	
	戦略と情報の経済学	1~4前後		2		○									兼1	
	民族問題を再考する	1~4前後		2		○									兼1	
	現代数学の問題	1~4前後		2		○									兼1	
	統計の考え方	1~4前後		2		○									兼1	
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2		○									兼1	
	生命科学入門	1~4前後		2		○									兼1	
	脳と心	1~4前後		2		○									兼1	
	自然界の法則を探る	1~4前後		2		○									兼1	
	環境と地域社会を考える	1~4前後		2		○									兼1	
	教養特別講義 1	1~4前後		2		○									兼1	
	大学授業改善論	1~4前後		2		○									兼1	
	君は頭がよくなりたいか—発信力—	1~4前後		2		○									兼1	
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2		○									兼1	
	自然災害と環境問題	1~4前後		2		○									兼1	
	現代日本の考究	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成基礎講座Ⅰ (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習Ⅰ (ニュースを読み解く—実践的メディア論)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習Ⅱ (地球と共に考える)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習Ⅲ (専門スキルを身につける①)	1~4前後		2		○									兼1	
	ビジネスパーソン入門	1~4前後		2		○									兼1	
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>															
	オペラの中の女性像	1~4前後		2		○										兼1
	デザインの周辺	1~4前後		2		○									兼1	
	愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1	
	音楽の世界	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その一)・・・愛すること	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その二)・・・愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その四)・・・他者と生きる	1~4前後		2		○									兼1	
	生活とモノづくり	1~4前後		2		○									兼1	
	彫刻入門	1~4前後		2		○									兼1	
	哲学とファンタジー	1~4前後		2		○									兼1	
	日本の伝統芸能	1~4前後		2		○									兼1	
	明治美術と西洋	1~4前後		2		○									兼1	
	レトリックと認識・発想	1~4前後		2		○									兼1	
	六朝と唐の文学	1~4前後		2		○									兼1	
	岡山の作家とその文学世界	1~4前後		2		○									兼1	
	外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	言語学入門	1～4前後		2		○									兼1
	社会生活と言語	1～4前後		2		○									兼1
	中国古典白話小説の世界	1～4前後		2		○									兼1
	万葉わらべうた	1～4前後		2		○									兼1
	近世初期のヨーロッパと世界	1～4前後		2		○									兼1
	ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	行動分析学入門	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	自尊感情の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	創造性の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	地理学の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	日本とコリア	1～4前後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1～4前後		2		○									兼1
	市民のための法と裁判	1～4前後		2		○									兼1
	情報の法律問題	1～4前後		2		○									兼1
	政治思想史入門	1～4前後		2		○									兼1
	日本の刑事裁判	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	法律と証券の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	冷戦後の国際社会	1～4前後		2		○									兼1
	アジア経済	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際協力入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2		○									兼1
	政府開発援助（ODA）を考える	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の文法とコミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の歴史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語文化論	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財ー伝統芸術に焦点をあててー	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	開発援助概論及び日本の援助の事例	1～4前後		2		○									兼1
	戦後の日本の経験と国際協力	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	【「健やかに生きる」グループ科目】														
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1
	社会保障	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
病気の医学検査ー体の異常はどこまで解るか？ー	1～4前後		2		○									兼1	
健康と病気	1～4前後		2		○									兼1	
環境と健康	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
こどもと命と健康	1～4前後		2		○									兼1	
学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1	
成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1	
口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1	
	創薬の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
	生命科学：入門と基礎	1～4前後		2		○									兼1	
	細胞の増え方ー発生と癌化の分子メカニズムー	1～4前後		2		○									兼1	
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究 I	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究 II	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	現代暗号と数学	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	化学のフロンティア	1～4前後		2		○										兼1
	生活と環境の化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の生物学	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	地球と惑星の気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	実践バーチャル・コンピューティング入門	1～4前後		2		○										兼1
	テレビゲームからみる情報科学概論	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	小計（161科目）		—		318	0		—								兼161
	個別科目	【人文・社会科学系科目】														
		哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1
		日本の思想	1～2前後		2		○									兼1
		ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1
		西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	絵画入門	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	Fine Woodworking	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語音声言語の表現	1～2前後		2		○									兼1	
	南オレゴン地域研究	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパを見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	映像でみる20世紀の日本と世界(1)	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係とコミュニケーション	1～2前後		2		○									兼1	
	芸能・祭からみた世界	1～2前後		2		○									兼1	
	日本国憲法	1～2前後		2		○									兼1	
	世界経済の発展と21世紀の展望	1～2前後		2		○									兼1	
	地域経済と農業	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育とコンピュータ	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理学	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学A(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学(量子力学)	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学(生物学入門)	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門(実習を含む)	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	先進科学体験	1～2前後		1					○							兼1
	初等数学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等物理学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等化学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
初等生物学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外	
<b>【生命・保健科学系科目】</b>																
健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1	
スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
個別科目	【情報科学系科目】																	
	情報処理入門 (情報機器の操作を含む)	1～4前後	2				○								兼1			
	情報処理入門	1～4前後		2			○								兼1			
	小計 (66科目)	—	2	110	8		—								兼66			
教養教育科目	外国語科目	英語 (工学部)	1前	2			○									兼1		
		英語 (ネイティブ)	1後	2			○									兼1		
		英語 (オラコン) ※	2前後		2			○								兼1		
		英語 (作文・文法) ※	2前後		2			○								兼1		
		英語 (読解) ※	2前後		2			○								兼1		
		英語 (検定) ※	2前後		2			○								兼1		
		上級英語	1～4前後		2			○								兼1		
		英語特別演習 1	3～4前後		2				○							兼1		
		英語特別演習 2	3～4前後		2				○							兼1		
		基礎英語	1～4前後			2		○								兼1	卒業要件外	
		ドイツ語初級 I (総合)	1前後		4			○									兼1	
		ドイツ語初級 I (文法)	1前後		2			○									兼1	
		ドイツ語初級 I (読本)	1前後		2			○									兼1	
		ドイツ語初級 II (総合)	1前後		4			○									兼1	
		ドイツ語初級 II (文法)	1前後		2			○									兼1	
		ドイツ語初級 II (読本)	1前後		2			○									兼1	
		ドイツ語中級	2前後		2			○									兼1	
		フランス語初級 I (総合)	1前後		4			○									兼1	
		フランス語初級 I (文法)	1前後		2			○									兼1	
		フランス語初級 I (読本)	1前後		2			○									兼1	
		フランス語初級 II (総合)	1前後		4			○									兼1	
		フランス語初級 II (文法)	1前後		2			○									兼1	
		フランス語初級 II (読本)	1前後		2			○									兼1	
		フランス語中級	2前後		2			○									兼1	
		中国語初級 I (文法)	1前後		2			○									兼1	
		中国語初級 I (読本)	1前後		2			○									兼1	
		中国語初級 II (文法)	1前後		2			○									兼1	
		中国語初級 II (読本)	1前後		2			○									兼1	
		中国語中級	2前後		2			○									兼1	
		韓国語初級 I (総合)	1前後		4			○									兼1	
		韓国語初級 I (文法)	1前後		2			○									兼1	
		韓国語初級 I (読本)	1前後		2			○									兼1	
		韓国語初級 II (総合)	1前後		4			○									兼1	
		韓国語初級 II (文法)	1前後		2			○									兼1	
		韓国語初級 II (読本)	1前後		2			○									兼1	
		韓国語中級	2前後		2			○									兼1	
		ロシア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		ロシア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		ロシア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		ロシア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		ロシア語中級	1～4前後		2			○									兼1	
		スペイン語初級 I (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		スペイン語初級 I (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		スペイン語初級 II (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		スペイン語初級 II (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		スペイン語中級	1～4前後		2			○									兼1	
		イタリア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		イタリア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		イタリア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○									兼1	
		イタリア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○									兼1	
		イタリア語中級	1～4前後		2			○									兼1	
		日本語 A	1～2前後		2			○									兼1	留学生のみ
		日本語 B	1～2前後		2			○									兼1	留学生のみ
		日本語 C	1～2前後		2			○									兼1	留学生のみ
		日本語 D	1～2前後		2			○									兼1	留学生のみ
	小計 (55科目)	—	4	116	2		—								兼55	—		

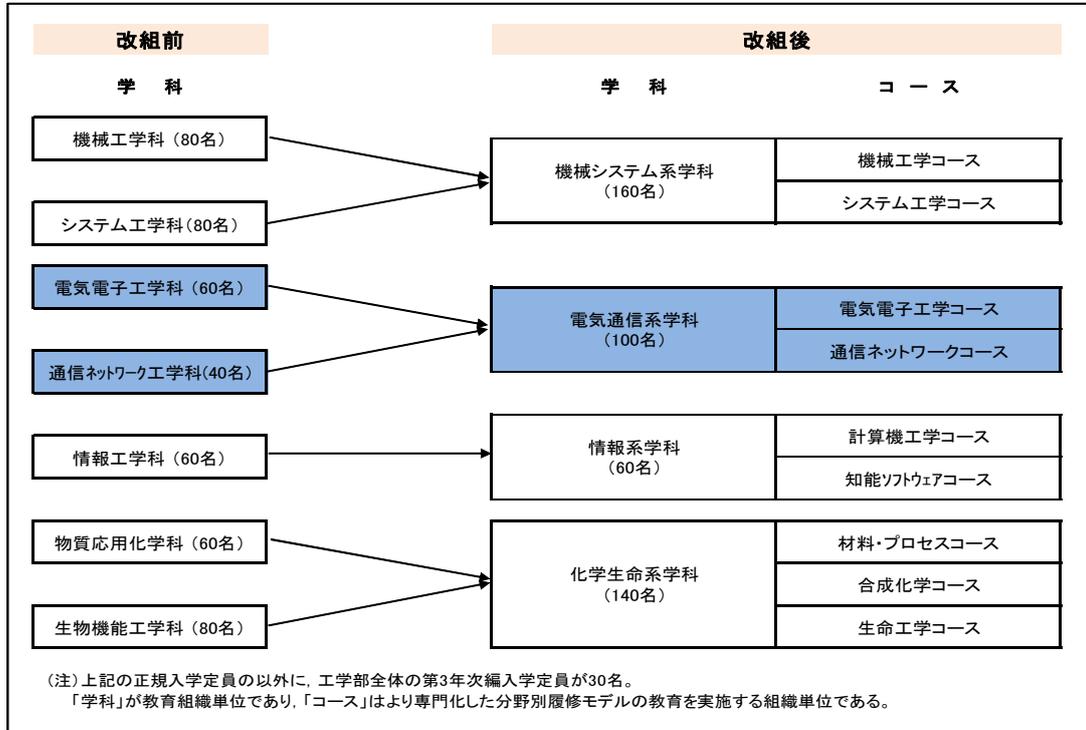


科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (電気電子工学コース専門科目)	電力系統工学Ⅱ	3後		2		○			1						
	電磁波工学	3後		2		○				1					
	パワーエレクトロニクス	3後		2		○				1					
	数値解析	3後		2		○				1					
	電子デバイス工学	3後		2		○			1						
	電気電子材料学	3後		2		○			1						
	特別講義Ⅱ	3後		1		○			1						
	電気法規・施設管理	4前		2		○									兼1
	電気設計学	4前		2		○									兼1
	小計 (25科目)	—	14	34	0	—			8	6		7		兼4	—
専門教育科目 (通信ネットワークコース専門科目)	通信プロトコルⅡ	2後	2			○			1						
	代数学	2後	2			○					1				
	プログラミング言語演習Ⅱ	2後	2				○			1					
	通信ネットワーク工学演習Ⅰ	2後	1				○					1			
	通信ネットワーク工学実験Ⅰ	3前	3					○				1			
	通信ネットワーク工学演習Ⅱ	3前	1					○				1			
	通信ネットワーク工学実験Ⅱ	3後	3							2					
	通信ネットワーク工学演習Ⅲ	3後	1					○		1					
	データ構造とアルゴリズム	2後		2			○		1						
	計算機アーキテクチャⅠ	2後		2			○				1				
	グラフ理論	2後		2			○		1						
	計算機アーキテクチャⅡ	3前		2			○				1				
	ネットワークセキュリティ	3前		2			○		1						
	モバイル通信方式	3後		2			○		1						
	電波システム工学	3後		2			○		1						
	分散システム学	3後		2			○		1			1			
	統計解析学	4前		2			○			1					
	数理計画	4前		2			○		1						
	情報セキュリティ	4前		2			○								兼1
	マルチメディア工学	3前		2			○								兼1
スペクトラム拡散通信	4前		2			○			1						
環境電磁工学	4前		2			○			1						
オートマトンと形式言語	4前		2			○		1							
情報化社会と技術	4前		2			○			1						
特別講義Ⅲ	4前		1			○			1						
小計 (25科目)	—	15	33	0	—			5	5	2	2		兼2	—	
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○									兼1
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○									兼1
	小計 (2科目)	—			4	—								兼1	
教職に関する科目	教職論	2前			2	○									兼1
	学校と教育の歴史	1後			2	○									兼1
	学校教育心理学	1前			2	○									兼1
	教育の制度と社会	2前			2	○									兼1
	人権・同和教育	1後			2	○									兼1
	カリキュラム論	2前			2	○									兼1
	情報科教育法	3前			2	○									兼1
	特別活動論	2前			2	○									兼1
	教育の方法と技術	2前			2	○									兼1
	現代教育方法学	2前後			2	○									兼1
	学習意欲向上の原理と手法	2前後			2	○									兼1
	教育評価・測定	2後			2	○									兼1
	生徒指導論Ⅰ (教育相談・進路指導を含む)	2後			2	○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 教職に関する科目	教育相談論B	3前			2	○									兼1
	生徒指導論II B	2後			2	○									兼1
	教育実習II (教育実習基礎研究)	3後4前			1			○							兼1
	教育実習V (高等学校)	4前			3			○							兼1
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○								兼1
	小計(18科目)	—	0	0	36	—									兼18
電気電子工学コース合計(370科目)		—	60	627	50	—			19	26	5	10		兼347	—
通信ネットワークコース合計(370科目)		—	61	626	50	—			19	26	5	10		兼363	—
学位又は称号	学士(工学)	学位又は学科の分野			工学関係										
設置の趣旨・必要性															
<b>I 設置の趣旨・必要性</b>															
<b>(1) 工学部改組の必要性</b>															
<p>本学工学部では、「人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人間の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行う。」との基本方針のもと、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために次の理念のもとに4年一貫教育を行ってきた。</p> <p>①自主的な学習能力、探求能力の育成  ②柔軟で総合的な判断能力の育成  ③倫理観、社会貢献する態度の育成  ④外国語及び情報活用能力の育成  ⑤豊かな人間性の育成</p> <p>この教育理念の実現のために、専門への導入教育や英語コミュニケーションなど基礎的な教育に力を入れ、系統的な科目配置による丁寧な専門教育を行い、学生実験、特別研究や創成プロジェクトなどによる問題発見・課題探求の教育でも実績も挙げてきた。しかし、科学技術の高度化・専門化・細分化を反映して、工学部の教育でも専門知識の修得に力を注ぐようになり、学ぶ内容がややもすれば専門分野に偏り、狭くなる傾向が現れていた。</p> <p>また、本学でこれまで実施されてきた授業評価アンケート等の学生と教育についての各種調査を整理すると、次のような問題点が浮き彫りとなってきた。</p> <p>①転学部や転学科を考えたことのある学生の割合が約29%で全学平均より5%高いこと。  ②転学部の申請者の入学定員比率が平成16～21年度の5年間平均で、全学平均の1.9倍と高いこと。  ③進路再考又は学業不振による休学の入学定員比率がそれぞれ全学平均の1.6倍(平成16～19年度)であり、同じ理由による退学は全学の82%を占めていること。また、留年率も全学平均の1.4倍(平成12～16年度)であること。  ④授業に満足している学生の割合が全学平均よりも5%低いこと。</p> <p>工学部が独自に設置している工学教育評価外部委員会においては、学部での教育について、工学の基礎を重視すると共に工学技術の幅広い基本知識の教育を行うこと、安全と倫理についての教育を行うことへの要望があった。</p>															
<b>(2) 工学部改組の趣旨</b>															
<p>こうした状況の中で、「工学部の教育理念」の実現、特に「①自主的な学習能力、探求能力の育成」及び「②柔軟で総合的な判断能力の育成」のためには、幅広い工学技術についての基本的知識と能力を身につけることが重要であり、幅広い視野を持つことにより、専門分野での課題探求能力も一層高められると考えられる。また、技術者・研究者に必要な基礎的なスキルを身につけ、工学技術を幅広く学ぶこともできるようになることが大きな課題となっており、このための抜本的な教育改革が必要であるとの認識を形成するに至った。</p> <p>工学部卒業者の大学院進学率の高まりを考慮して、専門性の高い内容の履修は大学院へ移すこととし、学部教育では、社会に出て仕事をする際の基礎能力として求められるコミュニケーション・スキル、情報処理能力などを修得し、技術者・研究者が基本的に身に付けるべき安全性知識、問題解決力、技術者倫理や、自然科学の基礎知識、及び工学技術の幅広い基本的知識を重点的に修得し、その上に確かな専門基礎知識を築くように変革することが望ましいとの結論を得、以下の4項目を骨子とした改革を行うこととした。</p> <p>①1～2年のうちに各分野での超伝導やインターネット・セキュリティなどの魅力的なトピックスを含む基本的な技術を示し、工学技術を広い視野で見ることができるようになること。  ②学生の適性や希望に合わせた専門分野の選択を行うため、入学時には専門分野を大括りにしておき、内容のある程度把握した2年後期から専門のコースに振り分けること。</p>															

- ③専門性の高い内容は大学院の授業にも移すことにより，工学の専門領域の基礎となる幅広い基本的技術の知識を獲得することができるカリキュラム体系とすること。
- ④コミュニケーション能力，安全教育，工学倫理など，技術者として必須の内容について，工学部全体の共通科目として設けること。

これらの改善を行うためには，工学の基礎を十分に修得し，幅広く工学技術の基本的知識を身につけた後に，専門コースに分かれるように教育カリキュラムを改革することが必要である。岡山大学では，以上の理念に基づき，現在の工学部の7学科を4学科に再編し，各学科に2～3の専門コースを置く4学科9専門コースに再編するものである。現状と改組後の各学科の対応は，下表のとおりである。



### (3) 電気通信系学科設置の趣旨及び名称

電力・エネルギー，通信・放送，家電，コンピュータ，情報，自動車，医療などの広範な産業分野では，IT革命が進展し，基盤技術である電気電子工学と通信ネットワーク工学における，ハードとソフトの融合を含む高度な発展が求められている。そのため，

①電気電子工学と通信ネットワーク工学分野の基礎知識を幅広く修得した，人材の養成を期待する社会的要請に応えるため

②電気電子工学と通信ネットワーク工学分野について，系統的で幅広い教育を行うため  
電気電子工学コースと通信ネットワーク工学コースの2コースを設けて，専門性の高い教育を行うために，電気電子工学科と通信ネットワーク工学科を改組し，1学科2コースに再編するものである。

本学科においては，安心・安全で，環境に優しい豊かな社会の構築を目指して，電力・エネルギー，計測制御，情報，コンピュータ，通信，ネットワークなどの電子デバイスとシステムに関する，基礎から設計・製作・応用に至るまでの教育を行う。

学科の名称については，上記のとおり電気・電子工学分野と通信・ネットワーク工学分野に関する教育を行う学科であることを表すため，電気通信系学科とした。

## (4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して2.7倍と1.09倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。電気通信系学科についても、改組前の電気電子工学科と通信ネットワーク工学科の志願倍率は平均2.8倍、入学定員充足率は1.16倍である。

		H17	H18	H19	H20	H21	計
電気電子工学科	募集人員	60	60	60	60	60	300
	志願者数	171	133	258	147	154	863
	倍率	2.9	2.2	4.3	2.5	2.6	2.9
	入学者数	72	73	69	65	68	347
	充足率	1.20	1.22	1.15	1.08	1.13	1.16
通信ネットワーク工学科	募集人員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	107	131	103	102	113	556
	倍率	2.7	3.3	2.6	2.6	2.8	2.8
	入学者数	48	50	49	44	44	235
	充足率	1.20	1.25	1.23	1.10	1.10	1.18
計	募集人員	100	100	100	100	100	500
	志願者数	278	264	361	249	267	1,419
	倍率	2.8	2.6	3.6	2.5	2.7	2.8
	入学者数	120	123	118	109	112	582
	充足率	1.20	1.23	1.18	1.09	1.12	1.16

本改組は、既存の7学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に専門コースを選択する4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は24,683件であり、就職希望者に対する求人倍率は5年平均で28.5倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.4%を確保している。改組前の電気電子工学科及び通信ネットワーク工学科においても、求人数8,929件、求人倍率40.2倍、就職率98.6%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、工学教育評価外部委員会から要望のあった工学の基礎教育の充実や工学技術の幅広い基本知識の教育を図るものでもあるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

		H16	H17	H18	H19	H20	5年間計
電気電子工学科	就職希望者	23	37	25	25	26	136
	求人数	850	898	976	697	1,600	5,021
	求人倍率	37.0	24.3	39.0	27.9	61.5	36.9
	就職者	22	37	25	25	26	135
	就職率	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%
通信ネットワーク工学科	就職希望者	20	11	12	24	19	86
	求人数	623	688	1,272	695	630	3,908
	求人倍率	31.2	62.5	106.0	29.0	33.2	45.4
	就職者	20	11	10	24	19	84
	就職率	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	97.7%
計	就職希望者	43	48	37	49	45	222
	求人数	1,473	1,586	2,248	1,392	2,230	8,929
	求人倍率	34.3	33.0	60.8	28.4	49.6	40.2
	就職者	42	48	35	49	45	219
	就職率	97.7%	100.0%	94.6%	100.0%	100.0%	98.6%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を、100人に設定した。

## (5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### (1) 教育課程編成の考え方

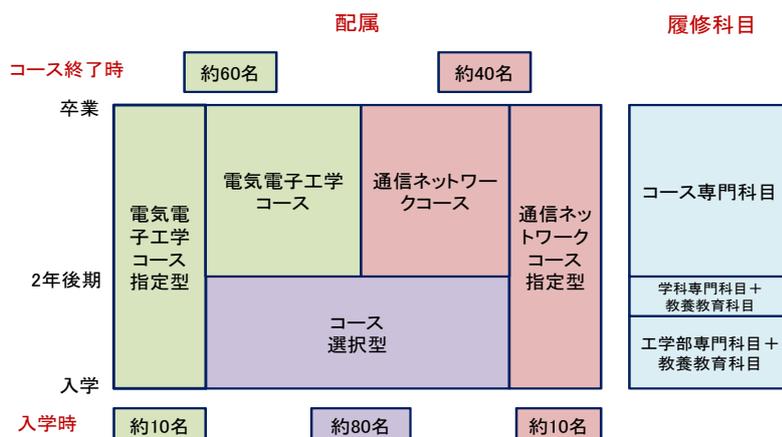
Iに掲げた教育改革が成功するには、その教育を受ける学生が、自身の属する学科またはコースの専門分野に興味を抱き、学ぶ意欲が高いことが前提となり、専門分野との整合性が高いほど教育効果も高くなる。しかし、科学技術の高度化・複雑化により、大学の特に理系の学部・学科の専門分野の内容が一般社会から見えにくくなってきており、高校から大学へ進学する若者の未熟化傾向が相まって、大学入学時に志望の専門分野を決めかねる学生の割合が増えていることが問題となっている。

このような状況を踏まえ、「学生がモチベーションを維持」しつつ、「工学部各学科の専門内容を理解した上で」、「自身とマッチングの取れた専門分野を選んで進む」ことができ、かつ同時に「幅広い工学技術の基本的知識を身に付けていく」ことができることが望ましい。

このため、岡山大学では、現在の工学部を改組した新しい4学科の構成で新入生を受け入れ、2年後期には学生自らの志望を決めることができるように、次の4つの基本的な考え方でカリキュラムを構成する。

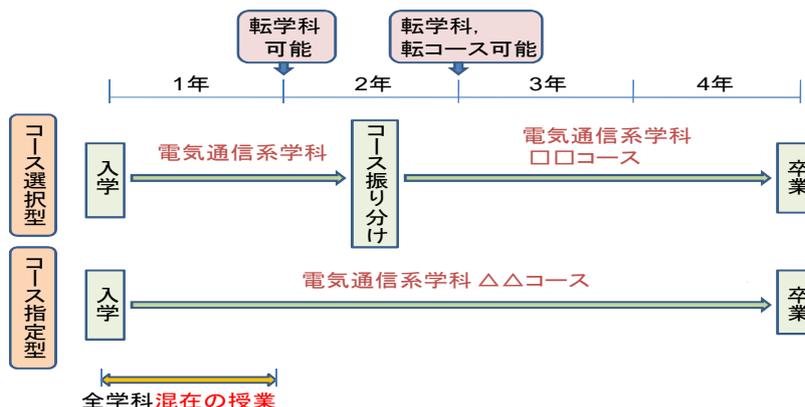
- ① 2年前期までに、広い工学的素養を身に付けるため、各専門分野の基本的な内容を学ぶ。
- ② 2年後期から専門性を高めた内容を学ぶために、各学科で学生の志望を基にコースに振り分ける。(コース選択型)
- ③ 学部共通科目や学科共通科目を設定することにより、2年後期までの履修科目を出来る限り共通化する。学生に対する各学科・コースについての丁寧な説明にもかかわらず生じうる分野変更希望者に対して、モチベーションを維持できるように転学科、転コースを容易化し、この共通化により、分野変更後の追加的な科目履修の負担を減らす。
- ④ また、大学入学時から学びたい専門分野が明確になっている学生については、入学時に将来の専門のコースを決めておくことができるようにし、モチベーションを維持し、より高めることができるようにする。(コース指定型)

電気通信系学科(入学定員100名の場合)における学生配属と科目履修



1年次では、全学科混在で授業を行う。  
コース指定型は、入学定員の15~20%とする。また、コース選択型を各コースに振り分ける時は、学生の希望を尊重するが、各コースでの教育に支障がないよう人数の調整を行うことがある。

入学から卒業までの学科・コースの所属



**(2) 幅広い学びを保证するための教育**

工学の徹底した基礎教育と幅広い基本技術の知識の獲得を実現するため、学生が技術者・研究者として必要な基礎的スキルを身につけ、工学技術を幅広く学んだ上で、十分な専門基礎知識を習得することができるような教育システムを構築する。その課程においては、講義だけではなく、物に触れ、体験して学習する演習・実験科目にも重きを置く。改組後の1年次から4年次までの教育課程の概要は以下のとおり。

1年次には、主に教養教育科目と全学科に共通の「専門基礎科目」を履修する。専門基礎科目としては、次に掲げる教育を行う。

- ・社会人として必要な基礎的素養・能力……日本語と英語のプレゼンテーション力、基本的な情報処理能力、工学倫理、工学安全知識
- ・自然科学の基礎知識……物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微分積分学、線形代数、確率統計、微分方程式
- ・幅広い工学の基礎的知識……工学部の9つのコース専門分野の重要基本技術（自動車、インターネットなど）についての系統的な概論、プログラミング、4つの学科ごとの基礎実験実習

2年次には、教養教育科目と、コース振り分け前の前期には各学科ごとに共通の電気回路学Ⅰ、電磁気学Ⅰなどの「学科専門科目」を、後期には通信工学などの学科専門科目と電磁気学Ⅱやデータ構造とアルゴリズムなどのコースに固有の専門基礎科目である「コース専門科目」を履修する。

3年次には、制御工学Ⅰ、電力系統工学Ⅰ、電子デバイス工学、ネットワークセキュリティやモバイル通信方式などのコース専門科目の履修により専門能力を高める。その際、他の学科・コースの学科専門科目・コース専門科目をも積極的に受講するようにする。

4年次には、電気設計学や情報化社会と技術などのコース専門科目の履修により専門能力を一層高めると共に、特別研究を行って課題発見・探求能力、自主的学習力・デザイン力・プレゼンテーション力などを総合的に身につける。

**(3) 社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制**

岡山大学では、学生が自分の適性・能力・価値観に応じた進路が選択できるよう、学生支援センターキャリア支援室を設置し、各学部と連携を取りながら行事主催や情報発信、個別指導による就職支援や進路・就職相談を行っている。授業科目としては、教養教育科目として、学生が将来の職業を意識し、自己の個性を理解した上で主体的に進路選択ができるようキャリア形成基礎講座やキャリア形成総合演習を実施しているほか、インターンシップを実施している。

工学部電気通信系学科においては、コース専門科目の特別講義Ⅱ及びⅢにおいて、学外から講師を招いて通常の大学の教員による講義では聴くことのできない社会や企業の最近の動向、工学の現場のトピックス、技術者・研究者としての体験等について講義を行う。

この講義により、電気通信工学の技術が社会及び自然に及ぼす影響・効果に関して理解を深め、地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養を養う。さらに社会に対する電気・通信技術者の貢献についてその社会的責任や倫理の自覚を促し、職業としての電気・通信技術者には世の中でいかなることが要求されるか等を各自考え、今後の授業・研究や進路選択等に役立たせる。

また、岡山経済同友会等の協力を得て、学科専門科目としてインターンシップを設定しており、学生を公共団体や企業に派遣する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間56単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして32単位以上修得する。</p> <p>必修科目10単位            ガイダンス科目4単位            情報処理入門（情報機器の操作を含む）2単位            英語（工学部）2単位            英語（ネイティブ）2単位</p> <p>選択科目：主題科目8単位（4以上のグループにわたること）            個別科目の自然科学系科目4単位            外国語科目の英語※の科目のうち4単位（2科目）            その他の外国語科目の選択科目から4単位            上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位</p> <p>○専門教育科目 コース毎に以下の条件を満たして、90単位以上修得する。</p> <p><b>【電気・電子工学コース】</b>  必修科目50単位            専門基礎科目14単位            学科専門科目22単位            コース専門科目14単位</p> <p>選択科目：専門基礎科目4単位            学科専門科目23単位            コース専門科目13単位</p> <p><b>【通信ネットワークコース】</b>  必修科目51単位            専門基礎科目14単位            学科専門科目22単位            コース専門科目15単位</p> <p>選択科目：専門基礎科目4単位            学科専門科目23単位            コース専門科目12単位</p> <p>○上記の他、教養教育科目・専門教育科目の選択科目から4単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

### 教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部情報系学科) 新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ガイダンス科目	機械系概論	1前	1			○									兼1	
	化学生命系概論	1前	1			○									兼1	
	電気通信系概論	1前	1			○									兼1	
	情報系概論	1前	1			○			1							
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—			1						兼3	
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>															
	哲学の展開	1~4前後		2		○									兼1	
	哲学へのいざない	1~4前後		2		○									兼1	
	日本の美—その造形の特徴について	1~4前後		2		○									兼1	
	美術と呪術	1~4前後		2		○									兼1	
	ジェンダーを考える	1~4前後		2		○									兼1	
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2		○									兼1	
	地球温暖化とサンゴ礁	1~4前後		2		○									兼1	
	マイノリティと経済—開発途上国を中心に	1~4前後		2		○									兼1	
	戦略と情報の経済学	1~4前後		2		○									兼1	
	民族問題を再考する	1~4前後		2		○									兼1	
	現代数学の問題	1~4前後		2		○									兼1	
	統計の考え方	1~4前後		2		○									兼1	
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2		○									兼1	
	生命科学入門	1~4前後		2		○									兼1	
	脳と心	1~4前後		2		○									兼1	
	自然界の法則を探る	1~4前後		2		○									兼1	
	環境と地域社会を考える	1~4前後		2		○									兼1	
	教養特別講義 1	1~4前後		2		○									兼1	
	大学授業改善論	1~4前後		2		○									兼1	
	君は頭がよくなりたいか—発信力—	1~4前後		2		○									兼1	
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2		○									兼1	
	自然災害と環境問題	1~4前後		2		○									兼1	
	現代日本の考究	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成基礎講座 I (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成基礎講座 II (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習 I (ニュースを読み解く—実践的メディア論)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習 II (地球と共に考える)	1~4前後		2		○									兼1	
	キャリア形成総合演習 III (専門スキルを身につける①)	1~4前後		2		○									兼1	
	ビジネスパーソン入門	1~4前後		2		○									兼1	
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>															
	オペラの中の女性像	1~4前後		2		○										兼1
	デザインの周辺	1~4前後		2		○									兼1	
	愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1	
	音楽の世界	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その一)・・・愛すること	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その二)・・・愛と死の現象学	1~4前後		2		○									兼1	
	生きる (その四)・・・他者と生きる	1~4前後		2		○									兼1	
	生活とモノづくり	1~4前後		2		○									兼1	
	彫刻入門	1~4前後		2		○									兼1	
	哲学とファンタジー	1~4前後		2		○									兼1	
	日本の伝統芸能	1~4前後		2		○									兼1	
	明治美術と西洋	1~4前後		2		○									兼1	
	レトリックと認識・発想	1~4前後		2		○									兼1	
	六朝と唐の文学	1~4前後		2		○									兼1	
	岡山の作家とその文学世界	1~4前後		2		○									兼1	
	外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	言語学入門	1～4前後		2		○									兼1
	社会生活と言語	1～4前後		2		○									兼1
	中国古典白話小説の世界	1～4前後		2		○									兼1
	万葉わらべうた	1～4前後		2		○									兼1
	近世初期のヨーロッパと世界	1～4前後		2		○									兼1
	ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	行動分析学入門	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	自尊感情の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	創造性の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	地理学の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	日本とコリア	1～4前後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1～4前後		2		○									兼1
	市民のための法と裁判	1～4前後		2		○									兼1
	情報の法律問題	1～4前後		2		○									兼1
	政治思想史入門	1～4前後		2		○									兼1
	日本の刑事裁判	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	法律と証券の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	冷戦後の国際社会	1～4前後		2		○									兼1
	アジア経済	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際協力入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2		○									兼1
	政府開発援助（ODA）を考える	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の文法とコミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の歴史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語文化論	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財ー伝統芸術に焦点をあててー	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	開発援助概論及び日本の援助の事例	1～4前後		2		○									兼1
	戦後の日本の経験と国際協力	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	【「健やかに生きる」グループ科目】														
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1
	社会保障	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
病気の医学検査ー体の異常はどこまで解るか？ー	1～4前後		2		○									兼1	
健康と病気	1～4前後		2		○									兼1	
環境と健康	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
こどもと命と健康	1～4前後		2		○									兼1	
学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1	
成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1	
口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1	
	創薬の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
	生命科学：入門と基礎	1～4前後		2		○									兼1	
	細胞の増え方ー発生と癌化の分子メカニズムー	1～4前後		2		○									兼1	
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	現代暗号と数学	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	化学のフロンティア	1～4前後		2		○										兼1
	生活と環境の化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の生物学	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	地球と惑星の気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	実践バーチャル・コンピューティング入門	1～4前後		2		○										兼1
	テレビゲームからみる情報科学概論	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	小計（161科目）		—		318	0		—								兼161
	個別科目	【人文・社会科学系科目】														
		哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1
		日本の思想	1～2前後		2		○									兼1
		ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	絵画入門	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	Fine Woodworking	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語音声言語の表現	1～2前後		2		○									兼1	
	南オレゴン地域研究	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパを見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	映像でみる20世紀の日本と世界(1)	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係とコミュニケーション	1～2前後		2		○									兼1	
	芸能・祭からみた世界	1～2前後		2		○									兼1	
	日本国憲法	1～2前後		2		○									兼1	
	世界経済の発展と21世紀の展望	1～2前後		2		○									兼1	
	地域経済と農業	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育とコンピュータ	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理学	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学A(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学(量子力学)	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学(生物学入門)	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門(実習を含む)	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	先進科学体験	1～2前後		1					○							兼1
	初等数学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等物理学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等化学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
初等生物学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外	
<b>【生命・保健科学系科目】</b>																
健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1	
スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
個別科目	【情報科学系科目】																
	情報処理入門 (情報機器の操作を含む)	1～4前後	2			○									兼1		
	情報処理入門	1～4前後		2		○									兼1		
	小計 (66科目)	—	2	110	8	—									兼66		
教養教育科目	外国語科目	英語 (工学部)	1前	2			○									兼1	
		英語 (ネイティブ)	1後	2			○									兼1	
		英語 (オラコン) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (作文・文法) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (読解) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (検定) ※	2前後		2			○								兼1	
		上級英語	1～4前後		2			○								兼1	
		英語特別演習 1	3～4前後		2				○							兼1	
		英語特別演習 2	3～4前後		2				○							兼1	
		基礎英語	1～4前後			2		○								兼1	卒業要件外
		ドイツ語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語中級	2前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語中級	2前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語中級	2前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語中級	2前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		日本語 A	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 B	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 C	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
		日本語 D	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ
	小計 (55科目)	—	4	116	2	—									兼55		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分※	1前	2			○					1				兼7 ※の 兼9 専門基礎 科目につ いては、 兼2 学部共通 で、 1 授業科 目につき 兼8 3～8クラス 兼7 開講予定 兼6 兼6 兼5 兼3 兼4
	線形代数※	1前	2			○									
	工学基礎実験実習	1前	2					○				2			
	工学安全教育	1後	2			○			1			2			
	工学倫理※	3前	2			○									
	専門英語	3前	2			○			1	1	1	1			
	技術表現法	3後	2			○			1	1	1				
	物理学基礎1(力学)※	1後		2		○									
	物理学基礎2(電磁気+電気回路(直流))※	1後		2		○									
	化学基礎※	1後		2		○									
	生物学基礎※	1後		2		○									
	プログラミング※	1後		2		○				1		1			
	確率統計※	1後		2		○				1		1			
	微分方程式※	1後		2		○									
小計(14科目)	—		14	14	0	—			3	4	3	7		兼57	
専門教育科目	情報理論	2前	2			○					1				兼1
	数理論理学	2前	2			○				1					
	応用解析	2前	2			○			1						
	コンピュータハードウェアI	2前	2			○			1						
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			○				1					
	プログラミング理論	2前	2			○					1				
	プログラミング演習	2前	2				○			1		1			
	応用数学第一	2後	2			○			1						
	オペレーティングシステム	2後	2			○			1						
	コンピュータアーキテクチャI	2後	2			○			1						
	システムプログラミング	2後	2			○			1	1		1			
	人工知能	3前	2			○			1						
	非手続き型言語	3前	2			○			1			1			
	論理型言語	3前	2			○			1						
	情報工学実験第一	3前	3			○					1	2			
	情報工学実験第二	3前	3			○					1	2			
	情報工学実験第三	3後	1			○				1		2			
	情報工学実験第四	3後	2			○				1		2			
	情報ネットワーク論	3後	2			○			1						
	プログラミング技法	3後	2			○				1					
	特別研究	4通	10				○		6	4	3	6			
	プログラミング言語論	2前		2		○			1						
	計算機数学I	2前		2		○			1						
	計測と数値計算	2前		2		○			1			1			
	グラフ理論	2後		2		○					1				
	計算機数学II	2後		2		○			1						
	コンパイラ	2後		2		○			1						
	言語解析論	2後		2		○					1				
	パターン認識と学習	3前		2		○					1				
	並行プログラミング	3前		2		○				1					
	符号理論	3前		2		○									
	制御論	3前		2		○			1						
	コンピュータシステムI	3前		2		○				1					
	応用数学第二	3前		2		○			1						
インターシブ	3前		2			○									
アルゴリズムと計算量	3後		2		○					1					
映像メディア処理	3後		2		○			1							
データベース論	3後		2		○				1						
コンピュータシステムII	3後		2		○				1						
オブジェクト指向プログラミング	3後		2		○										
計算理論	3後		2		○			1							
コンピュータハードウェアII	3後		2		○			1							
コンピュータグラフィックス	3後		2		○			1			1				
情報化における職業	4前		2		○			1							
小計(44科目)	—		51	46	0	—			6	4	3	6		兼7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	計算機工学コース 専門科目	論理設計	2後	2			○			1		1					
		コンピュータアーキテクチャⅡ	3前	2			○										
	画像処理	2後		2			○					1					
	知識工学	3前		2			○				1						
	小計(4科目)	—	4	4	0		—		2	0	2	1				—	
	知能ソフトウェアコース 専門科目	画像処理	2後	2			○			1			1				
		知識工学	3前	2			○					1					
	論理設計	2後		2			○					1					
	コンピュータアーキテクチャⅡ	3前		2			○			1							
	小計(4科目)	—	4	4	0		—		2	0	2	1				—	
	教職に関する科目	教職論	2前			2	○										兼1
		学校と教育の歴史	1後			2	○										兼1
		学校教育心理学	1前			2	○										兼1
		教育の制度と社会	2前			2	○										兼1
		人権・同和教育	1後			2	○										兼1
		カリキュラム論	2前			2	○										兼1
		情報科教育法	3前			2	○										兼1
		特別活動論	2前			2	○										兼1
教育の方法と技術		2前			2	○										兼1	
現代教育方法学		2前後			2	○										兼1	
学習意欲向上の原理と手法		2前後			2	○										兼1	
教育評価・測定		2後			2	○										兼1	
生徒指導論Ⅰ(教育相談・進路指導を含む)		2後			2	○										兼1	
教育相談論B		3前			2	○										兼1	
生徒指導論ⅡB		2後			2	○										兼1	
教育実習Ⅱ(教育実習基礎研究)	3後4前			1				○							兼1		
教育実習Ⅴ(高等学校)	4前			3					○						兼1		
教職実践演習(中・高)	4後			2			○								兼1		
小計(18科目)	—	0	0	36		—									兼18		
計算機工学コース合計(366科目)		—	79	608	46		—		20	26	7	11			兼367	—	
知能ソフトウェアコース合計(366科目)		—	79	608	46		—		20	26	7	11			兼367	—	
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係											

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

(1) 工学部改組の必要性

本学工学部では、「人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人間の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行う。」との基本方針のもと、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために次の理念のもとに4年一貫教育を行ってきた。

- ①自主的な学習能力、探求能力の育成
- ②柔軟で総合的な判断能力の育成
- ③倫理観、社会貢献する態度の育成
- ④外国語及び情報活用能力の育成
- ⑤豊かな人間性の育成

設置の趣旨・必要性

この教育理念の実現のために、専門への導入教育や英語コミュニケーションなど基礎的な教育に力を入れ、系統的な科目配置による丁寧な専門教育を行い、学生実験、特別研究や創成プロジェクトなどによる問題発見・課題探求の教育でも実績も挙げてきた。しかし、科学技術の高度化・専門化・細分化を反映して、工学部の教育でも専門知識の修得に力を注ぐようになり、学ぶ内容がややもすれば専門分野に偏り、狭くなる傾向が現れていた。

また、本学でこれまで実施されてきた授業評価アンケート等の学生と教育についての各種調査を整理すると、次のような問題点が浮き彫りとなってきた。

- ① 転学部や転学科を考えたことのある学生の割合が約29%で全学平均より5%高いこと。
- ② 転学部の申請者の入学定員比率が平成16～21年度の5年間平均で、全学平均の1.9倍と高いこと。
- ③ 進路再考又は学業不振による休学の入学定員比率がそれぞれ全学平均の1.6倍（平成16～19年度）であり、同じ理由による退学は全学の82%を占めていること。また、留年率も全学平均の1.4倍（平成12～16年度）であること。
- ④ 授業に満足している学生の割合が全学平均よりも5%低いこと。

工学部が独自に設置している工学教育評価外部委員会においては、学部での教育について、工学の基礎を重視すると共に工学技術の幅広い基本知識の教育を行うこと、安全と倫理についての教育を行うことへの要望があった。

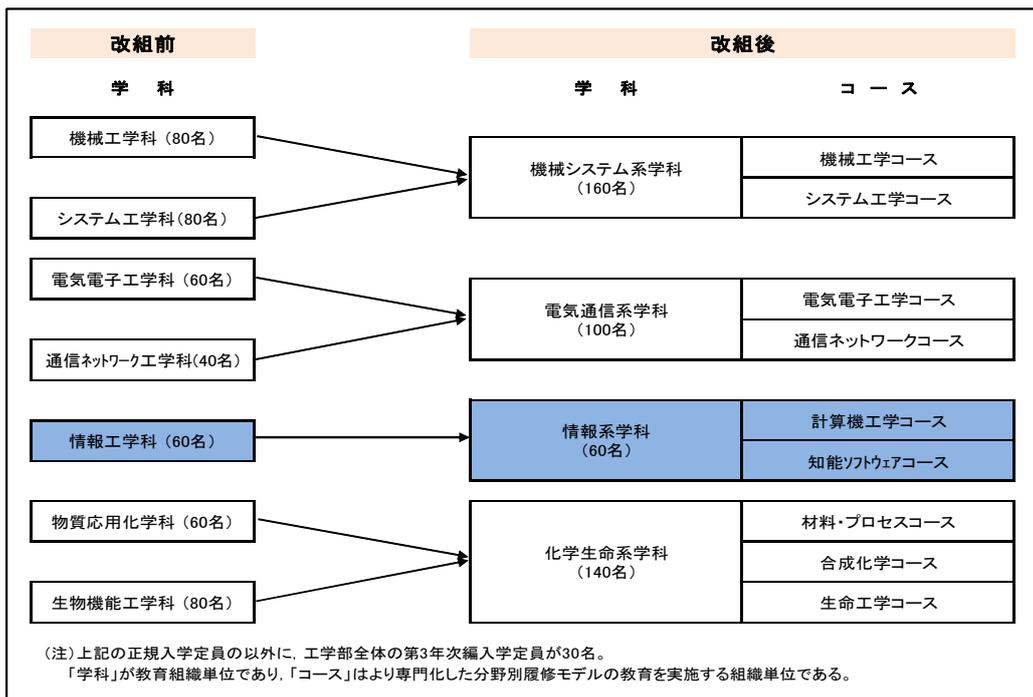
(2) 工学部改組の趣旨

こうした状況の中で、「工学部の教育理念」の実現、特に「①自主的な学習能力、探求能力の育成」及び「②柔軟で総合的な判断能力の育成」のためには、幅広い工学技術についての基本的知識と能力を身につけることが重要であり、幅広い視野を持つことにより、専門分野での課題探求能力も一層高められると考えられる。また、技術者・研究者に必要な基礎的なスキルを身につけ、工学技術を幅広く学ぶこともできるようにすることが大きな課題となっており、このための抜本的な教育改革が必要であるとの認識を形成するに至った。

工学部卒業生の大学院進学率の高まりを考慮して、専門性の高い内容の履修は大学院へ移すこととし、学部教育では、社会に出て仕事をする際の基礎能力として求められるコミュニケーション・スキル、情報処理能力などを修得し、技術者・研究者が基本的に身に付けるべき安全性知識、問題解決力、技術者倫理や、自然科学の基礎知識、及び工学技術の幅広い基本的知識を重点的に修得し、その上に確かな専門基礎知識を築くように変革することが望ましいとの結論を得、以下の4項目を骨子とした改革を行うこととした。

- ① 1～2年のうちにオペレーティングシステムや画像認識技術などの各分野での魅力的なトピックスを含む基本的な技術を示し、工学技術を広い視野で見ることができるようになること。
- ② 学生の適性や希望に合わせた専門分野の選択を行うため、入学時には専門分野を大括りにしておき、内容のある程度把握した2年後期から専門のコースに振り分けること。
- ③ 専門性の高い内容は大学院の授業にも移すことにより、工学の専門領域の基礎となる幅広い基本的技術の知識を獲得することができるカリキュラム体系とすること。
- ④ コミュニケーション能力、安全教育、工学倫理など、技術者として必須の内容について、工学部全体の共通科目として設けること。

これらの改善を行うためには、工学の基礎を十分に修得し、幅広く工学技術の基本的知識を身につけた後に、専門コースに分かれるように教育カリキュラムを改革することが必要である。岡山大学では、以上の理念に基づき、現在の工学部の7学科を4学科に再編し、各学科に2～3の専門コースを置く4学科9専門コースに再編するものである。現状と改組後の各学科の対応は、下表のとおりである。



## (3) 情報系学科設置の趣旨及び名称

情報工学に基づく技術は、コンピュータシステムやソフトウェアシステムの設計・運用、高度情報処理のみならず、社会の隅々に浸透したあらゆる情報サービスの基盤技術であり、これからの産業と社会の持続的発展のためにも欠かすことはできない。

そのため、コンピュータと知能に関する科学・工学の教育を通して、社会の要請に応えることのできる情報処理と情報システムの専門技術者を養成するため、コンピュータの仕組みや動作の基本原則を重点とする計算機工学コースとコンピュータを利用した高度情報処理システムの専門家の養成を目指す知能ソフトウェアコースの2コースを設けて、専門性の高い教育を行うために、情報工学科を改組し、1学科2コースに再編するものである。

本学科においては、コンピュータの基礎理論と構成論、プログラミング、人工知能、知能システム、コンピュータおよびネットワークのセキュリティなどに関するカリキュラムによる教育を行い、情報化社会の中心的役割を担える自立的な技術者を養成する。

学科の名称については、上記のとおり計算機工学と知能ソフトウェアという情報工学分野に関する教育を行う学科であることを表すため、情報系学科とした。

## (4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して2.7倍と1.09倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。情報系学科についても、改組前の情報工学科の志願倍率は平均2.4倍、入学定員充足率は1.04倍である。

		H17	H18	H19	H20	H21	計
情報工学科	募集人員	60	60	60	60	60	300
	志願者数	159	176	106	138	152	731
	倍率	2.7	2.9	1.8	2.3	2.5	2.4
	入学者数	62	63	61	64	62	312
	充足率	1.03	1.05	1.02	1.07	1.03	1.04

本改組は、既存の7学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に専門コースを選択する4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は24,683件であり、就職希望者に対する求人倍率は5年平均で28.5倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.4%を確保している。改組前の情報工学科においても、求人数2,712件、求人倍率24.7倍、就職率95.5%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、工学教育評価外部委員会から要望のあった工学の基礎教育の充実や工学技術の幅広い基本知識の教育を図るものでもあるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

		H16	H17	H18	H19	H20	5年間計
情報工学科	就職希望者	21	17	25	26	21	110
	求人数	1,036	615	338	354	369	2,712
	求人倍率	49.3	36.2	13.5	13.6	17.6	24.7
	就職者	21	15	22	26	21	105
	就職率	100.0%	88.2%	88.0%	100.0%	100.0%	95.5%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を、60人に設定した。

## (5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

II 教育課程編成の考え方・特色

(1) 教育課程編成の考え方

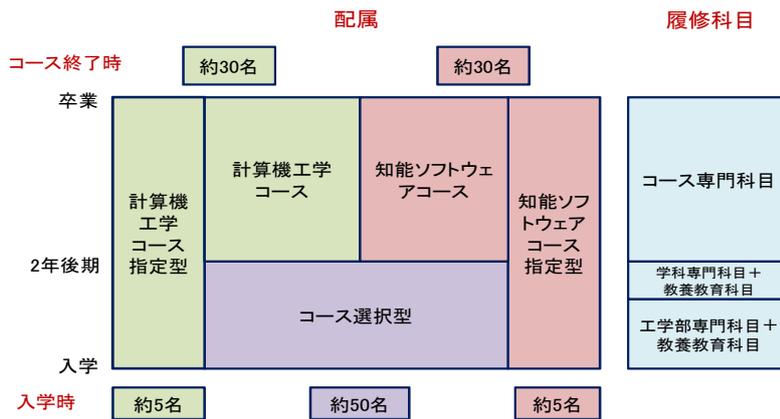
I に掲げた教育改革が成功するには、その教育を受ける学生が、自身の属する学科またはコースの専門分野に興味を抱き、学ぶ意欲が高いことが前提となり、専門分野との整合性が高いほど教育効果も高くなる。しかし、科学技術の高度化・複雑化により、大学の特に理系の学部・学科の専門分野の内容が一般社会から見えにくくなってきており、高校から大学へ進学する若者の未熟化傾向が相まって、大学入学時に志望の専門分野を決めかねる学生の割合が増えていることが問題となっている。

このような状況を踏まえ、「学生がモチベーションを維持」しつつ、「工学部各学科の専門内容を理解した上で」、「自身とマッチングの取れた専門分野を選んで進む」ことができ、かつ同時に「幅広い工学技術の基本的知識を身に付けていく」ことができることが望ましい。

このため、岡山大学では、現在の工学部を改組した新しい4学科の構成で新入生を受け入れ、2年後期には学生自らの志望を決めることができるように、次の4つの基本的な考え方でカリキュラムを構成する。

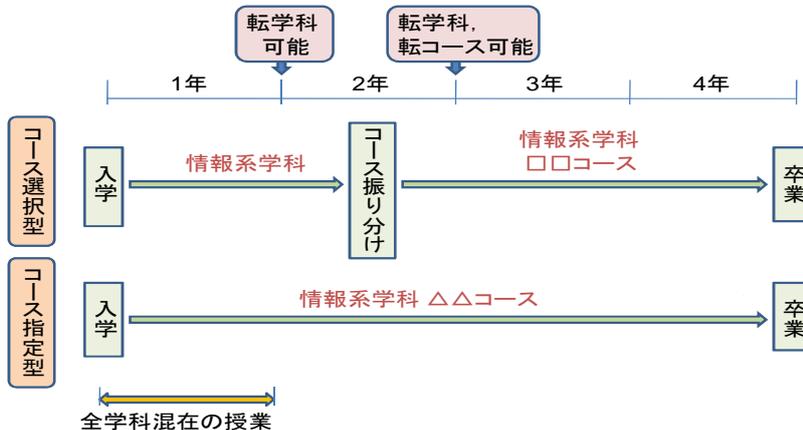
- ① 2年前期までに、広い工学的素養を身に付けるため、各専門分野の基本的な内容を学ぶ。
- ② 2年後期から専門性を高めた内容を学ぶために、各学科で学生の志望を基にコースに振り分ける。(コース選択型)
- ③ 学部共通科目や学科共通科目を設定することにより、2年後期までの履修科目を出来る限り共通化する。学生に対する各学科・コースについての丁寧な説明にもかかわらず生じうる分野変更希望者に対して、モチベーションを維持できるように転学科、転コースを容易化し、この共通化により、分野変更後の追加的な科目履修の負担を減らす。
- ④ また、大学入学時から学びたい専門分野が明確になっている学生については、入学時に将来の専門のコースを決めておくことができるようにし、モチベーションを維持し、より高めることができるようにする。(コース指定型)

情報系学科(入学定員60名の場合)における学生配属と科目履修



1年次では、全学科混在で授業を行う。  
 コース指定型は、入学定員の15~20%とする。また、コース選択型を各コースに振り分ける時は、学生の希望を尊重するが、各コースでの教育に支障がないよう人数の調整を行うことがある。

入学から卒業までの学科・コースの所属



(2) 幅広い学びを保证するための教育

工学の徹底した基礎教育と幅広い基本技術の知識の獲得を実現するため、学生が技術者・研究者として必要な基礎的スキルを身につけ、工学技術を幅広く学んだ上で、十分な専門基礎知識を習得することができるような教育システムを構築する。その課程においては、講義だけではなく、物に触れ、体験して学習する演習・実験科目にも重きを置く。改組後の1年次から4年次までの教育課程の概要は以下のとおり。

1年次には、主に教養教育科目と全学科に共通の「専門基礎科目」を履修する。専門基礎科目としては、次に掲げる教育を行う。

- ・社会人として必要な基礎的素養・能力……日本語と英語のプレゼンテーション力、基本的な情報処理能力、工学倫理、工学安全知識
- ・自然科学の基礎知識……物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微分積分学、線形代数、確率統計、微分方程式
- ・幅広い工学の基礎的知識……工学部の9つのコース専門分野の重要基本技術（自動車、インターネットなど）についての系統的な概論、プログラミング、4つの学科ごとの基礎実験実習

2年次には、教養教育科目と、コース振り分け前の前期にはコンピュータとハードウェアⅠ、オペレーティングシステム、コンピュータアーキテクチャⅠなどの各学科ごとに共通の「学科専門科目」を、後期には学科専門科目と論理設計や画像処理などのコースに固有の専門基礎科目である「コース専門科目」を履修する。

3年次には、コンピュータアーキテクチャⅡや知識工学などのコース専門科目の履修により専門能力を高める。その際、他の学科・コースの学科専門科目・コース専門科目をも積極的に受講するようにする。

4年次には、情報化における職業などの専門科目の履修により専門能力を一層高めると共に、特別研究を行って課題発見・探求能力、自主的学習力・デザイン力・プレゼンテーション力などを総合的に身につける。

(3) 社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制

岡山大学では、学生が自分の適性・能力・価値観に応じた進路が選択できるよう、学生支援センターキャリア支援室を設置し、各学部と連携を取りながら行事主催や情報発信、個別指導による就職支援や進路・就職相談を行っている。授業科目としては、教養教育科目として、学生が将来の職業を意識し、自己の個性を理解した上で主体的に進路選択ができるようキャリア形成基礎講座やキャリア形成総合演習を実施しているほか、インターンシップを実施している。

工学部情報系学科においては、学科専門科目「情報化における職業」において学外から講師を招いて通常の大学の教員による講義では聴くことのできない社会や企業の最近の動向、技術者・研究者としての体験等について講義を行う。この科目により情報工学に対する視野を広め、職業としての情報工学技術者には世の中でいかなることが要求されるかを各自考え、今後の授業・研究や進路選択等に役立たせる。

また、岡山経済同友会等の協力を得て、学科専門科目としてインターンシップを設定しており、学生を公共団体や企業に派遣する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間56単位とする。 ○教養教育科目 以下の条件を満たして32単位以上修得する。 必修科目10単位 ガイダンス科目4単位 情報処理入門（情報機器の操作を含む）2単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位 選択科目：主題科目8単位（4以上のグループにわたること） 個別科目6単位 外国語科目の英語※の科目のうち4単位（2科目） その他の外国語科目の選択科目から4単位 ○専門教育科目 計算機工学コース及び知能ソフトウェアコースで共通し、以下の条件を満たして90単位以上修得する。 必修科目69単位 専門基礎科目14単位 学科専門科目51単位 コース専門科目4単位 選択科目：専門基礎科目4単位 学科専門科目13単位 コース専門科目2単位 上記の他、専門基礎科目・学科専門科目・コース専門科目から2単位 ○上記の他、教養教育科目・専門教育科目の選択科目から4単位	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部化学生命系学科)新設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	機械系概論	1前	1			○									兼1
	化学生命系概論	1前	1			○			1						兼1
	電気通信系概論	1前	1			○									兼1
	情報系概論	1前	1			○									兼1
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			1						兼3
教養教育科目 主題科目	【「現代の課題」グループ科目】														
	哲学の展開	1～4前後		2		○									兼1
	哲学へのいざない	1～4前後		2		○									兼1
	日本の美—その造形の特徴について	1～4前後		2		○									兼1
	美術と呪術	1～4前後		2		○									兼1
	ジェンダーを考える	1～4前後		2		○									兼1
	歴史認識論争と学校教育	1～4前後		2		○									兼1
	地球温暖化とサンゴ礁	1～4前後		2		○									兼1
	マイノリティと経済—開発途上国を中心に	1～4前後		2		○									兼1
	戦略と情報の経済学	1～4前後		2		○									兼1
	民族問題を再考する	1～4前後		2		○									兼1
	現代数学の問題	1～4前後		2		○									兼1
	統計の考え方	1～4前後		2		○									兼1
	化学のおもちゃ箱	1～4前後		2		○									兼1
	生命科学入門	1～4前後		2		○									兼1
	脳と心	1～4前後		2		○									兼1
	自然界の法則を探る	1～4前後		2		○									兼1
	環境と地域社会を考える	1～4前後		2		○									兼1
	教養特別講義1	1～4前後		2		○									兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2		○									兼1
	君は頭がよくなりたいか—発信力—	1～4前後		2		○									兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1～4前後		2		○									兼1
	自然災害と環境問題	1～4前後		2		○									兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ(自分、大学、社会を知り人生について考える)	1～4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ(業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ(ニュースを読み解く—実践的メディア論)	1～4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ(地球と共に考える)	1～4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ(専門スキルを身につける①)	1～4前後		2		○									兼1
	ビジネスパーソン入門	1～4前後		2		○									兼1
	【「人間と社会」グループ科目】														
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	デザインの周辺	1～4前後		2		○									兼1
	愛と死の現象学	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生きる(その一)・・・愛すること	1～4前後		2		○									兼1
	生きる(その二)・・・愛と死の現象学	1～4前後		2		○									兼1
	生きる(その四)・・・他者と生きる	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	哲学とファンタジー	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	明治美術と西洋	1～4前後		2		○									兼1
	レトリックと認識・発想	1～4前後		2		○									兼1
	六朝と唐の文学	1～4前後		2		○									兼1
	岡山の作家とその文学世界	1～4前後		2		○									兼1
	外国語を学ぶ、世界が広がる	1～4前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	言語学入門	1～4前後		2		○									兼1
	社会生活と言語	1～4前後		2		○									兼1
	中国古典白話小説の世界	1～4前後		2		○									兼1
	万葉わらべうた	1～4前後		2		○									兼1
	近世初期のヨーロッパと世界	1～4前後		2		○									兼1
	ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	行動分析学入門	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	自尊感情の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	創造性の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	地理学の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	日本とコリア	1～4前後		2		○									兼1
	文化人類学の考え方	1～4前後		2		○									兼1
	市民のための法と裁判	1～4前後		2		○									兼1
	情報の法律問題	1～4前後		2		○									兼1
	政治思想史入門	1～4前後		2		○									兼1
	日本の刑事裁判	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	法律と証券の基礎	1～4前後		2		○									兼1
	冷戦後の国際社会	1～4前後		2		○									兼1
	アジア経済	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際協力入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2		○									兼1
	政府開発援助（ODA）を考える	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の文法とコミュニケーション	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の歴史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語文化論	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財ー伝統芸術に焦点をあててー	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	開発援助概論及び日本の援助の事例	1～4前後		2		○									兼1
	戦後の日本の経験と国際協力	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		1					○						兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		1					○						兼1
	【「健やかに生きる」グループ科目】														
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1
	社会保障	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1
病気の医学検査ー体の異常はどこまで解るか？ー	1～4前後		2		○									兼1	
健康と病気	1～4前後		2		○									兼1	
環境と健康	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
こどもと命と健康	1～4前後		2		○									兼1	
学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1	
成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1	
口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1	
	創薬の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
	生命科学：入門と基礎	1～4前後		2		○									兼1	
	細胞の増え方ー発生と癌化の分子メカニズムー	1～4前後		2		○									兼1	
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1	
	プロ・スポーツ研究Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	現代暗号と数学	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	化学のフロンティア	1～4前後		2		○										兼1
	生活と環境の化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の生物学	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	地球と惑星の気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	実践バーチャル・コンピューティング入門	1～4前後		2		○										兼1
	テレビゲームからみる情報科学概論	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	小計（161科目）		—		318	0		—								兼161
	個別科目	【人文・社会科学系科目】														
		哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1
		日本の思想	1～2前後		2		○									兼1
		ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1
		西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	絵画入門	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	Fine Woodworking	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語音声言語の表現	1～2前後		2		○									兼1	
	南オレゴン地域研究	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパを見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	映像でみる20世紀の日本と世界(1)	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係とコミュニケーション	1～2前後		2		○									兼1	
	芸能・祭からみた世界	1～2前後		2		○									兼1	
	日本国憲法	1～2前後		2		○									兼1	
	世界経済の発展と21世紀の展望	1～2前後		2		○									兼1	
	地域経済と農業	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育学概論	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語教育とコンピュータ	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理学	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学A(力学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B(電磁気学)	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学(量子力学)	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学(生物学入門)	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門(実習を含む)	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	先進科学体験	1～2前後		1					○							兼1
	初等数学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等物理学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
	初等化学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外
初等生物学	1～2前後			2	○										兼1 卒業要件外	
<b>【生命・保健科学系科目】</b>																
健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1	
スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1	
スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
個別科目	【情報科学系科目】																
	情報処理入門 (情報機器の操作を含む)	1～4前後	2				○								兼1		
	情報処理入門	1～4前後		2			○								兼1		
	小計 (66科目)	—	2	110	8		—								兼66		
教養教育科目	外国語科目	英語 (工学部)	1前	2			○									兼1	
		英語 (ネイティブ)	1後	2			○									兼1	
		英語 (オラコン) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (作文・文法) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (読解) ※	2前後		2			○								兼1	
		英語 (検定) ※	2前後		2			○								兼1	
		上級英語	1～4前後		2			○								兼1	
		英語特別演習 1	3～4前後		2				○							兼1	
		英語特別演習 2	3～4前後		2				○							兼1	
		基礎英語	1～4前後			2		○								兼1	卒業要件外
		ドイツ語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		ドイツ語中級	2前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		フランス語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		フランス語中級	2前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		中国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		中国語中級	2前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 I (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 I (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (総合)	1前後		4			○								兼1	
		韓国語初級 II (文法)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語初級 II (読本)	1前後		2			○								兼1	
		韓国語中級	2前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		ロシア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		スペイン語中級	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 I (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (文法)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語初級 II (読本)	1～4前後		2			○								兼1	
		イタリア語中級	1～4前後		2			○								兼1	
日本語 A	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ		
日本語 B	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ		
日本語 C	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ		
日本語 D	1～2前後		2			○								兼1	留学生のみ		
	小計 (55科目)	—	4	116	2		—								兼55		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分※	1前	2			○									兼8 ※の 兼7 専門基礎 科目につ いては、 兼1 学部共通 兼2 で、 1 授業科 目につき 兼6 兼3 3~8クラス 開講予定  兼7 兼5 兼4
	線形代数※	1前	2			○			1	1					
	工学基礎実験実習	1前	2					○	12	15	2	15	1		
	工学安全教育	1後	2			○				1	1	1			
	工学倫理※	3前	2			○									
	専門英語	3前	2			○				1	1	2			
	技術表現法	3後	2			○			2						
	物理学基礎 1 (力学) ※	1後		2		○			1	1					
	物理学基礎 2 (電磁気+電気回路 (直流)) ※	1後		2		○				1	1	1	2		
	化学基礎※	1後		2		○			3	3					
	生物学基礎※	1後		2		○			3	3					
	プログラミング※	1後		2		○									
	確率統計※	1後		2		○									
	微分方程式※	1後		2		○									
小計 (14科目)	—	14	14	0	—	—	—	12	15	2	15	1	兼43		
専門科目 (学科専門科目)	物理化学及び演習 1	2前	3			○			3	2	1			兼2	
	無機化学及び演習 1	2前	3			○			3	2	1				
	有機化学及び演習 1	2前	3			○			3	3					
	生化学及び演習 1	2前	3			○			3	3					
	化学生命系英語	2前	2			○			2	2	2	2			
	基礎化学実験	2前	3			○			2	15	2	15	1		
	特別研究	4通	10				○		14	15	3				
	物理化学及び演習 2	2後		3		○			3	2	1				
	無機化学及び演習 2	2後		3		○			3	2	1				
	有機化学及び演習 2	2後		3		○			3	3					
	生化学及び演習 2	2後		3		○		○	3	3					
	量子化学	2後		2			○		1	2					
	化学工学 1	2後		2		○			1	1					
	分析化学	2後		2		○				1	1				
	インターンシップ	3前		2				○	—	—	—	—	—		
	放射線安全利用工学及び実験	3前		2				○	4	4		4			
小計 (16科目)	—	27	22	0	—	—	—	14	15	3	15	1	兼2		
専門教育科目	【材料・プロセスコース】														
	材料プロセス実験 1	2後		3						5	2	5			
	材料プロセス実験 2	3前		3						5	2	5			
	材料プロセス実験 3	3後		3						5	2	5			
	化学装置設計製図	3前		2		○			1						
	小計 (4科目)	—	11		0	—	—	—	1	5	2	5		—	
	【合成化学コース】														
	合成化学実験 1	2後		3						5	1	5			
	合成化学実験 2	3前		3						5	1	5			
	合成化学実験 3	3後		3						5	1	5			
	小計 (3科目)	—	9		0	—	—	—		5	1	5		—	
	【生命工学コース】														
	生命工学実験 1	2後		3						6		5	1		
生命工学実験 2	3前		3						6		5	1			
生命工学実験 3	3後		3						6		5	1			
小計 (3科目)	—	9		0	—	—	—		6		5	1	—		
【共通】															
物理化学 3	3前		2		○				1	1					
無機化学 3	3前		2		○				1						
化学工学 2	3前		2		○				1						
有機化学 3	3前		2		○			1	1						
高分子化学	3前		2		○			1	1	1					
機器分析	3前		2		○				1						
生化学 3	3前		2		○			1	1						
分子生物学	3前		2		○				1						
生物物理学	3前		2		○			1							
高分子・生体材料学	3後		2		○			1		2					
無機物性化学	3後		2		○			2	1						
無機反応化学	3後		2		○			1	1						
反応工学	3後		2		○				2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 (コース専門科目)	化学プロセス工学	3後		2		○			1	1						
	物理有機化学	3後		2		○				1		1				
	有機合成化学	3後		2		○			1	1			1			
	立体化学	3後		2		○			1	1						
	有機工業化学	3後		2		○			1							
	機能分子化学	3後		2		○					2					
	遺伝子工学	3後		2		○			1	1						
	蛋白質工学	3後		2		○			1							
	酵素工学	3後		2		○					1					
	細胞工学	3後		2		○			1							
	微生物工学	3後		2		○					1					
	材料プロセス各論 1	3前		1		○									兼1	
	材料プロセス各論 2	3後		1		○									兼1	
	合成化学各論 1	3前		1		○									兼1	
	合成化学各論 2	3後		1		○									兼1	
	生命工学各論 1	3前		1		○									兼1	
	生命工学各論 2	3後		1		○									兼1	
	小計 (30科目)	—		54	0		—			14	15	3	1		兼2	—
	専門教育科目 教科に関する科目	職業指導概説 I	4前			2	○									兼1
		職業指導概説 II	4後			2	○									兼1
		小計 (2科目)	—			4		—								兼1
	専門教育科目 教職に関する科目	教職論	2前			2	○									兼1
		学校と教育の歴史	1後			2	○									兼1
		学校教育心理学	1前			2	○									兼1
		教育の制度と社会	2前			2	○									兼1
		人権・同和教育	1後			2	○									兼1
		カリキュラム論	2前			2	○									兼1
		中等理科指導法 I A	3前			1	○									兼1
		中等理科指導法 I B	3前			1	○									兼1
		中等理科指導法 II A	3後			1	○									兼1
中等理科指導法 II B		3後			1	○									兼1	
特別活動論		2前			2	○									兼1	
教育の方法と技術		2前			2	○									兼1	
現代教育方法学		2前後			2	○									兼1	
学習意欲向上の原理と手法		2前後			2	○									兼1	
教育評価・測定		2後			2	○									兼1	
生徒指導論 I (教育相談・進路指導を含む)		2後			2	○									兼1	
教育相談論B		3前			2	○									兼1	
生徒指導論 II B		2後			2	○									兼1	
教育実習 II (教育実習基礎研究)	3後4前			1										兼1		
教育実習 V (高等学校)	4前			3										兼1		
教職実践演習 (中・高)	4後			2		○								兼1		
小計 (21科目)	—		0	0	38		—							兼21		
材料・プロセスコース合計 (373科目)		—	62	634	52		—		31	40	9	24	1	兼354	—	
合成化学コース合計 (372科目)		—	60	634	52		—		31	40	9	24	1	兼354	—	
生命工学コース合計 (372科目)		—	60	634	52		—		31	40	9	24	1	兼354	—	
学位又は称号	学士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係									

## I 設置の趣旨・必要性

## (1) 工学部改組の必要性

本学工学部では、「人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人間の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行う。」との基本方針のもと、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために次の理念のもとに4年一貫教育を行ってきた。

- ①自主的な学習能力、探求能力の育成
- ②柔軟で総合的な判断能力の育成
- ③倫理観、社会貢献する態度の育成
- ④外国語及び情報活用能力の育成
- ⑤豊かな人間性の育成

この教育理念の実現のために、専門への導入教育や英語コミュニケーションなど基礎的な教育に力を入れ、系統的な科目配置による丁寧な専門教育を行い、学生実験、特別研究や創成プロジェクトなどによる問題発見・課題探求の教育でも実績も挙げてきた。しかし、科学技術の高度化・専門化・細分化を反映して、工学部の教育でも専門知識の修得に力を注ぐようになり、学ぶ内容がややもすれば専門分野に偏り、狭くなる傾向が現れていた。

また、本学でこれまで実施されてきた授業評価アンケート等の学生と教育についての各種調査を整理すると、次のような問題点が浮き彫りとなってきた。

- ①転学部や転学科を考えたことのある学生の割合が約29%で全学平均より5%高いこと。
- ②転学部の申請者の入学定員比率が平成16～21年度の5年間平均で、全学平均の1.9倍と高いこと。
- ③進路再考又は学業不振による休学の入学定員比率がそれぞれ全学平均の1.6倍（平成16～19年度）であり、同じ理由による退学は全学の82%を占めていること。また、留年率も全学平均の1.4倍（平成12～16年度）であること。
- ④授業に満足している学生の割合が全学平均よりも5%低いこと。

工学部が独自に設置している工学教育評価外部委員会においては、学部での教育について、工学の基礎を重視すると共に工学技術の幅広い基本知識の教育を行うこと、安全と倫理についての教育を行うことへの要望があった。

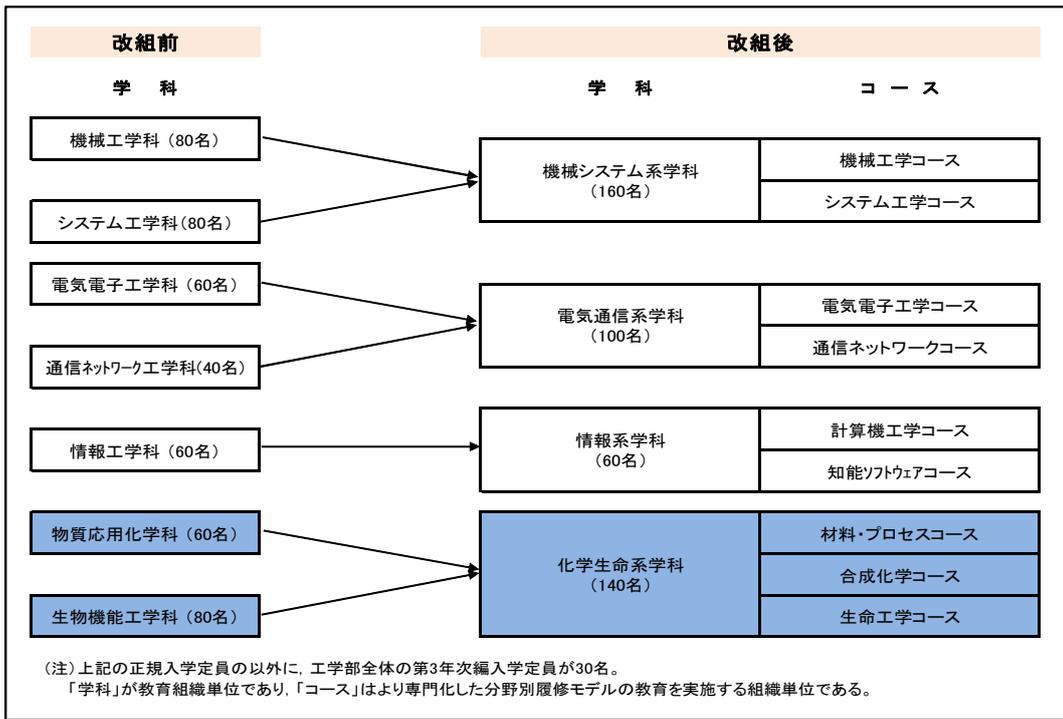
## (2) 工学部改組の趣旨

こうした状況の中で、「工学部の教育理念」の実現、特に「①自主的な学習能力、探求能力の育成」及び「②柔軟で総合的な判断能力の育成」のためには、幅広い工学技術についての基本的知識と能力を身につけることが重要であり、幅広い視野を持つことにより、専門分野での課題探求能力も一層高められると考えられる。また、技術者・研究者に必要な基礎的なスキルを身につけ、工学技術を幅広く学ぶこともできるようにすることが大きな課題となっており、このための抜本的な教育改革が必要であるとの認識を形成するに至った。

工学部卒業者の大学院進学率の高まりを考慮して、専門性の高い内容の履修は大学院へ移すこととし、学部教育では、社会に出て仕事をする際の基礎能力として求められるコミュニケーション・スキル、情報処理能力などを修得し、技術者・研究者が基本的に身に付けるべき安全性知識、問題解決力、技術者倫理や、自然科学の基礎知識、及び工学技術の幅広い基本的知識を重点的に修得し、その上に確かな専門基礎知識を築くように変革することが望ましいとの結論を得、以下の4項目を骨子とした改革を行うこととした。

- ①1～2年のうちに環境適合の物質合成法やタンパク質制御などの各分野での魅力的なトピックスを含む基本的な技術を示し、工学技術を広い視野で見ることができるようになること。
- ②学生の適性や希望に合わせた専門分野の選択を行うため、入学時には専門分野を大括りにしておき、内容のある程度把握した2年後期から専門のコースに振り分けること。
- ③専門性の高い内容は大学院の授業にも移すことにより、工学の専門領域の基礎となる幅広い基本的技術の知識を獲得することができるカリキュラム体系とすること。
- ④コミュニケーション能力、安全教育、工学倫理など、技術者として必須の内容について、工学部全体の共通科目として設けること。

これらの改善を行うためには、工学の基礎を十分に修得し、幅広く工学技術の基本的知識を身につけた後に、専門コースに分かれるように教育カリキュラムを改革することが必要である。岡山大学では、以上の理念に基づき、現在の工学部の7学科を4学科に再編し、各学科に2～3の専門コースを置く4学科9専門コースに再編するものである。現状と改組後の各学科の対応は、下表のとおりである。



(3) 化学生命系学科設置の趣旨及び名称

化学は物質・材料の創造と生産を通して、医薬・農薬、精密機械、自動車、電子・情報などの広範な産業を支えているが、健康と医療、エネルギー問題、食料問題、地球環境問題などの大きな問題の解決に重要な役割を果たすために、化学と生命科学を融合した教育が重要になってきた。

そのため、

①従前の物質応用化学科と生物機能工学科を併せて、化学とバイオテクノロジーの広い専門分野をカバーする教育を行うため

②化学、生命科学および工学の調和した教育プログラムにより、多様な分野で活躍できる創造性豊かな人材の育成を行うため

反応の化学工学的側面を重点とする材料・プロセスコース、合成化学コース、および生命科学コースの3コースを設けて専門性の高い教育を行うために、物質応用化学科と生物機能工学科を改組し、1学科3コースに再編するものである。

本学科においては、国際的な視野をもち、多様な分野で活躍できる個性と創造性の豊かな人材の育成を目指して、基礎学力を重視し、物理化学、無機化学、有機化学、生化学とその関連領域に関する知識と応用能力などを修得させる教育を行う。

学科の名称については、上記のとおり化学とバイオテクノロジーの広い専門分野について教育を行う学科であることを表すため、化学生命系学科とした。

(4) 入学定員の設定

過去5年間の工学部の志願倍率と入学定員充足率は、平均して2.7倍と1.09倍を確保しており、学科別にも大きなばらつきはない。化学生命系学科についても、改組前の物質応用化学科と生物機能工学科の志願倍率は平均2.7倍、入学定員充足率は1.07倍である。

		H17	H18	H19	H20	H21	計
物質応用化学科	募集人員	60	60	60	60	60	300
	志願者数	146	148	131	192	186	803
	倍率	2.4	2.5	2.2	3.2	3.1	2.7
	入学者数	68	60	66	67	66	327
	充足率	1.13	1.00	1.10	1.12	1.10	1.09
生物機能工学科	募集人員	80	80	80	80	80	400
	志願者数	214	207	227	236	227	1,111
	倍率	2.7	2.6	2.8	3.0	2.8	2.8
	入学者数	85	87	80	85	84	421
	充足率	1.06	1.09	1.00	1.06	1.05	1.05
計	募集人員	140	140	140	140	140	700
	志願者数	360	355	358	428	413	1,914
	倍率	2.6	2.5	2.6	3.1	3.0	2.7
	入学者数	153	147	146	152	150	748
	充足率	1.09	1.05	1.04	1.09	1.07	1.07

本改組は、既存の7学科を再編して4学科構成とするものであることから、最低限この志願倍率を確保できる見込みである。また、2年次後半に専門コースを選択する4学科9専門コース制の導入、転学科・転コースを容易にすること等、入学して幅広い工学技術の基礎を学んだ後に自分の進むべき分野を選択できる改組であることから、志願倍率が上昇することを見込んでいる。

工学部の過去5年間の求人数は24,683件であり、就職希望者に対する求人倍率は5年平均で28.5倍に達する。また、就職希望者の就職率も96.4%を確保している。改組前の物質応用化学科及び生物機能工学科においても求人数5,473件、求人倍率20.3倍、就職率96.3%である。今回の改組は、より学ぶべき分野を明確にしたコースを設けるものであり、工学教育評価外部委員会から要望のあった工学の基礎教育の充実や工学技術の幅広い基本知識の教育を図るものでもあるため、引き続き同程度の求人数・就職率を維持できると見込んでいる。

		H16	H17	H18	H19	H20	5年間計
物質応用化学科	就職希望者	32	31	41	21	25	150
	求人数	606	1,454	1,272	1,148	129	4,609
	求人倍率	18.9	46.9	31.0	54.7	5.2	30.7
	就職者	28	29	40	20	25	142
	就職率	87.5%	93.5%	97.6%	95.2%	100.0%	94.7%
生物機能工学科	就職希望者	19	19	19	31	32	120
	求人数	73	448	88	170	85	864
	求人倍率	3.8	23.6	4.6	5.5	2.7	7.2
	就職者	19	19	18	30	32	118
	就職率	100.0%	100.0%	94.7%	96.8%	100.0%	98.3%
計	就職希望者	51	50	60	52	57	270
	求人数	679	1,902	1,360	1,318	214	5,473
	求人倍率	13.3	38.0	22.7	25.3	3.8	20.3
	就職者	47	48	58	50	57	260
	就職率	92.2%	96.0%	96.7%	96.2%	100.0%	96.3%

上記のほか、教育の質保証、教員の学生指導等を総合的に勘案した結果、改組後の入学定員を、140人に設定した。

##### (5) 学位

取得できる学位は、学士（工学）とする。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### (1) 教育課程編成の考え方

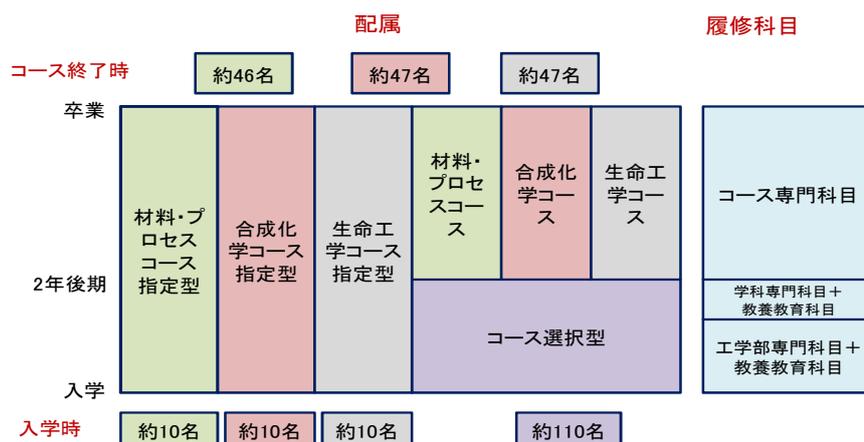
I に掲げた教育改革が成功するには、その教育を受ける学生が、自身の属する学科またはコースの専門分野に興味を抱き、学ぶ意欲が高いことが前提となり、専門分野との整合性が高いほど教育効果も高くなる。しかし、科学技術の高度化・複雑化により、大学の特に理系の学部・学科の専門分野の内容が一般社会から見えにくくなってきており、高校から大学へ進学する若者の未熟化傾向が相まって、大学入学時に志望の専門分野を決めかねる学生の割合が増えていることが問題となっている。

このような状況を踏まえ、「学生がモチベーションを維持」しつつ、「工学部各学科の専門内容を理解した上で」、「自身とマッチングの取れた専門分野を選んで進む」ことができ、かつ同時に「幅広い工学技術の基本的知識を身に付けていく」ことができることが望ましい。

このため、岡山大学では、現在の工学部を改組した新しい4学科の構成で新入生を受け入れ、2年後期には学生自らの志望を決めることができるように、次の4つの基本的な考え方でカリキュラムを構成する。

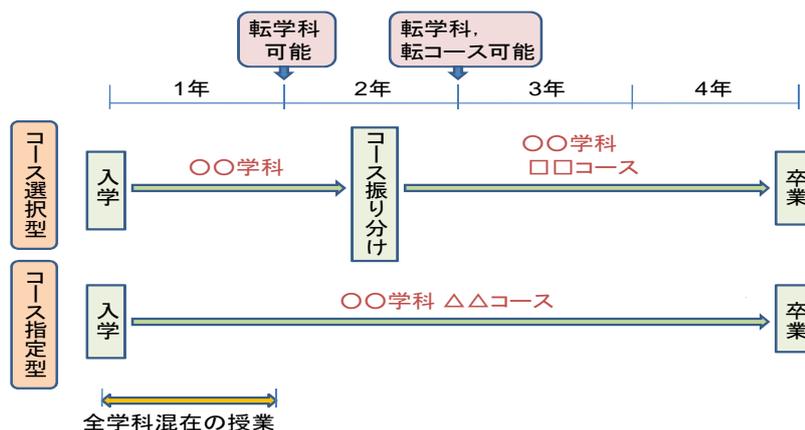
- ① 2年前期までに、広い工学的素養を身に付けるため、各専門分野の基本的な内容を学ぶ。
- ② 2年後期から専門性を高めた内容を学ぶために、各学科で学生の志望を基にコースに振り分ける。(コース選択型)
- ③ 学部共通科目や学科共通科目を設定することにより、2年後期までの履修科目を出来る限り共通化する。学生に対する各学科・コースについての丁寧な説明にもかかわらず生じうる分野変更希望者に対して、モチベーションを維持できるように転学科、転コースを容易化し、この共通化により、分野変更後の追加的な科目履修の負担を減らす。
- ④ また、大学入学時から学びたい専門分野が明確になっている学生については、入学時に将来の専門のコースを決めておくことができるようにし、モチベーションを維持し、より高めることができるようにする。(コース指定型)

化学生命系学科(入学定員140名の場合)における学生配属と科目履修



1年次では、全学科混在で授業を行う。  
 コース指定型は、入学定員の15~22%とする。また、コース選択型を各コースに振り分ける時は、学生の希望を尊重するが、各コースでの教育に支障がないよう人数の調整を行うことがある。

入学から卒業までの学科・コースの所属



**(2) 幅広い学びを保证するための教育**

工学の徹底した基礎教育と幅広い基本技術の知識の獲得を実現するため、学生が技術者・研究者として必要な基礎的スキルを身につけ、工学技術を幅広く学んだ上で、十分な専門基礎知識を習得することができるような教育システムを構築する。その課程においては、講義だけではなく、物に触れ、体験して学習する演習・実験科目にも重きを置く。改組後の1年次から4年次までの教育課程の概要は以下のとおり。

1年次には、主に教養教育科目と全学科に共通の「専門基礎科目」を履修する。専門基礎科目としては、次に掲げる教育を行う。

- ・社会人として必要な基礎的素養・能力……日本語と英語のプレゼンテーション力、基本的な情報処理能力、工学倫理、工学安全知識
- ・自然科学の基礎知識……物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微分積分学、線形代数、確率統計、微分方程式
- ・幅広い工学の基礎的知識……工学部の9つのコース専門分野の重要基本技術（自動車、インターネットなど）についての系統的な概論、プログラミング、4つの学科ごとの基礎実験実習

2年次には、教養教育科目と、コース振り分け前の前期には無機化学及び演習Ⅰ、有機化学及び演習Ⅰや生化学及び演習Ⅰなどの各学科ごとに共通の「学科専門科目」を、後期には量子化学や分析化学などの学科専門科目と材料プロセス実験Ⅰ、合成化学実験Ⅰや生命工学実験Ⅰなどのコースに固有の専門基礎科目である「コース専門科目」を履修する。

3年次には、化学工学、高分子化学や分子生物学などのコース専門科目の履修により専門能力を高める。その際、他の学科・コースの学科専門科目・コース専門科目をも積極的に受講するようにする。

4年次には、コース専門科目の履修により専門能力を一層高めると共に、特別研究を行って課題発見・探求能力、自主的学習力・デザイン力・プレゼンテーション力などを総合的に身につける。

**(3) 社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制**

岡山大学では、学生が自分の適性・能力・価値観に応じた進路が選択できるよう、学生支援センターキャリア支援室を設置し、各学部と連携を取りながら行事主催や情報発信、個別指導による就職支援や進路・就職相談を行っている。授業科目としては、教養教育科目として、学生が将来の職業を意識し、自己の個性を理解した上で主体的に進路選択ができるようキャリア形成基礎講座やキャリア形成総合演習を実施しているほか、インターンシップを実施している。

工学部化学生命系学科においては、学科専門科目として機能分子化学において学外から5名程度の講師を招いて、通常の大学の教員による講義では聴くことのできない社会のニーズや企業における医薬品や有機機能材料の最近の開発動向、研究開発現場でのトピックス、技術者・研究者としての体験等について講義を受ける機会を設けている。この科目により化学生命系科目全体に対する視野を広め、職業としての化学生命系技術者・研究者には世の中でいかなることが要求されるかを各自考え、今後の授業・研究や進路選択等に役立たせる。

また、岡山経済同友会等の協力を得て、学科専門科目としてインターンシップを設定しており、学生を公共団体や企業に派遣する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。  ただし、履修科目の登録の上限は年間56単位とする。</p> <p>○教養教育科目  以下の条件を満たして32単位以上修得する。  <b>必修科目10単位</b>  ガイダンス科目4単位  情報処理入門（情報機器の操作を含む）2単位  英語（工学部）2単位  英語（ネイティブ）2単位  <b>選択科目：主題科目8単位（4以上のグループにわたること）</b>  個別科目の自然科学系科目4単位  外国語科目の英語※の科目のうち4単位（2科目）  その他の外国語科目の選択科目から4単位  上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位</p> <p>○専門教育科目  コース毎に以下の条件を満たして94単位以上修得する。  <b>【材料・プロセスコース】</b>  <b>必修科目52単位</b>  専門基礎科目14単位  学科専門科目27単位  コース専門科目11単位  <b>選択科目：専門基礎科目4単位</b>  学科専門科目13単位  コース専門科目から履修指導により25単位</p> <p><b>【合成化学コース及び生命工学コース】</b>  <b>必修科目50単位</b>  専門基礎科目14単位  学科専門科目27単位  コース専門科目9単位  <b>選択科目：専門基礎科目4単位</b>  学科専門科目13単位  コース専門科目から履修指導により27単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部機械工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	機械工学ガイダンス	1前	2			○			1						
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			1						
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>														
	統計の考え方	1~4前後	2			○									兼1
	哲学へのいざない	1~4前後	2			○									兼1
	哲学の展開	1~4前後	2			○									兼1
	教養特別講義 1	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成基礎講座II (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後	2			○									兼1
	自然と農地の恵み	1~4前後	2			○									兼1
	現代日本の考究	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成総合演習 I (新聞を作るー実践的メディア論)	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成基礎講座 I (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後	2			○									兼1
	経済政策入門	1~4前後	2			○									兼1
	物流技術革新と世界経済	1~4前後	2			○									兼1
	生命科学入門	1~4前後	2			○									兼1
	ジェンダーを考える	1~4前後	2			○									兼1
	現代日本の考究	1~4前後	2			○									兼1
	自然界の法則を探る	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成総合演習 II (地球と共に考える)	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成総合演習 III (専門スキルを身につける①)	1~4前後	2			○									兼1
	大学授業改善論	1~4前後	2			○									兼1
	化学のおもちゃ箱	1~4前後	2			○									兼1
	美術と呪術	1~4前後	2			○									兼1
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後	2			○									兼1
	君は頭がよくなりたかー発信力	1~4前後	2			○									兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後	2			○									兼1
	自然災害と環境問題	1~4前後	2			○									兼1
	大学授業改善論	1~4前後	2			○									兼1
	キャリア形成基礎講座 II (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後	2			○									兼1
	現代数学の問題	1~4前後	2			○									兼1
	組織経営の理論	1~4前後	2			○									兼1
	日本の美ーその造形の特質について	1~4前後	2			○									兼1
	現代の金融問題	1~4前後	2			○									兼1
	脳と心	1~4前後	2			○									兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>														
現代日本の社会と政治学	1~4前後	2			○									兼1	
唐詩を読む	1~4前後	2			○									兼1	
心理学入門	1~4前後	2			○									兼1	
自尊感情の心理学	1~4前後	2			○									兼1	
政治思想史入門	1~4前後	2			○									兼1	
市民のための法と裁判	1~4前後	2			○									兼1	
日本近代文学	1~4前後	2			○									兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後	2			○									兼1	
ジェンダーと生きることー働く	1~4前後	2			○									兼1	
未来にむけてー															
国際舞台に誘う学問入門	1~4前後	2			○									兼1	
臨床心理学入門	1~4前後	2			○									兼1	
歴史と気候：西洋史学の最前線	1~4前後	2			○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財—伝統芸術に焦点をあてて—	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	【「健やかに生きる」グループ科目】														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査—体の異常はどこまで解るか?—	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
医学入門	1～4前後		2		○									兼1	
細胞の増え方—発生と癌化の分子メカニズム—	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
主 題 科 目	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0										兼152
	個 別 科 目	【情報科学系科目】														
		情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後	2			○									兼1
情報処理入門		1～4前後	2			○									兼1	
【人文・社会科学系科目】																
日本国憲法		1～2前後		2		○									兼1	
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○									兼1	
社会学で考える		1～2前後		2		○									兼1	
アジアを知る		1～2前後		2		○									兼1	
日本の思想		1～2前後		2		○									兼1	
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○									兼1	
老年社会学	1～2前後		2		○									兼1		
日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
個別科目 教養教育科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	小計（64科目）		—	4	114	0	—									兼64
	外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1
		英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1
		英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1
		英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1
		英語（読解）	2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 外国語科目	英語（検定）	2前後		2		○									兼1	
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1	
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1	
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1	
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語中級	2前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1	
		小計（55科目）	—	4	116	2	—									兼55
	専門教育科目 専門基礎科目	基礎統計学	1前	2			○			1						兼1
		微分・積分学	1前	2			○									
		線形代数	1前	2			○				1					
		微分方程式	1後	2			○				1			5		
物理実験		1後	2					○								
力学Ⅰ		1後	1			○			1							
技術文章学		3前	2			○			1							
力学Ⅱ		2前	2			○				1						
	小計（8科目）	—	13	2	0	—			3	3		5			兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	機械工作実習	1通	2					○	1	1		1			
	材料力学Ⅰ	2前	2			○			1						
	工業熱力学Ⅰ	2前	2			○			1						
	基本機械製図	2前	2			○			1			1			
	創成プロジェクト	2前	2			○				1		1			
	流体力学Ⅰ	3前	2			○			1						
	創造工学実験	3通	2					○					2		
	機械工学英語Ⅰ	3前	2			○			1	1					兼1
	機械工学英語Ⅱ	3後	2			○				2					兼1
	工学倫理	3前	2			○									兼1
	機械工学セミナーⅠ	3前	1			○			1						兼1
	機械工学セミナーⅡ	3後	1			○			1						兼1
	材料工学入門	3後	2			○			1						
	特別研究	4通	10					○	10	7		8			
	フーリエ・ラプラス変換	1後		2			○			1					
	ベクトル・複素解析	2前		2			○			1					
	機械製作学	1前		2			○			1					
	MOT入門	3後		2			○			1					
	材料力学Ⅱ	2後		2			○			1					
	工業熱力学Ⅱ	2後		2			○				1				
	流体力学Ⅱ	3後		2			○			1					
	機械設計学	3前		2			○			1					
	計測工学	2前		2			○				1				
	制御理論	2後		2			○				1				
	伝熱学	3前		2			○			1					
	機械設計製図	3後		2			○			1					
	数値計算法	3後		2			○				1				
	振動工学	2後		2			○			1					
	機構学	2後		2			○			1					
	素材製作学	3前		2			○				1				
	特殊加工学	3前		2			○			1					
	偏微分方程式	2後		2			○					1			
	CAD基礎	2後		2			○				2				
	塑性工学	3前		2			○				1				
	機械材料工学	4前		2			○			1					
	切削工学	3後		2			○				1				
	制御工学	3前		2			○				1				
	生産管理学	3前		2			○			1					
	機械電子工学	3後		2			○								兼1
	材料強度学	3後		2			○			1					
	潜熱移動学	3後		2			○			1					
	内燃機関	3後		2			○			1					
	機械工学インターシップ	3前		2					○				1		
小計 (43科目)	—		34	58	0			—	10	7		8		兼7	—
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○								兼1	
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○								兼1	
	小計 (2科目)	—			4			—						兼1	
合計 (325科目)		—	57	594	6			—	10	7		8		兼280	—
学位又は称号	学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間48単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして30単位以上修得すること。</p> <p>必修科目10単位            ガイダンス科目2単位            個別科目の情報科学系科目4単位            英語（工学部）2単位            英語（ネイティブ）2単位</p> <p>選択科目：主題科目8単位（3つのグループにわたること）            個別科目4単位            外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目）            その他の外国語科目の選択科目から4単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして90単位以上修得すること。</p> <p>必修科目47単位            専門基礎科目13単位            専門科目34単位</p> <p>選択科目：専門科目43単位  ○上記の他、教養教育科目・専門教育科目の選択科目から6単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部システム工学科)既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	基礎システム論	1前	2			○			1						
	知能ロボット運用論	1後	2			○			1						
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			2						
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>														
	統計の考え方	1~4前後		2			○								兼1
	哲学へのいざない	1~4前後		2			○								兼1
	哲学の展開	1~4前後		2			○								兼1
	教養特別講義1	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座II(業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2			○								兼1
	自然と農地の恵み	1~4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習I(新聞を作るー実践的メディア論)	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座I(自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2			○								兼1
	経済政策入門	1~4前後		2			○								兼1
	物流技術革新と世界経済	1~4前後		2			○								兼1
	生命科学入門	1~4前後		2			○								兼1
	ジェンダーを考える	1~4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2			○								兼1
	自然界の法則を探る	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習II(地球と共に考える)	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習III(専門スキルを身につける①)	1~4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2			○								兼1
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2			○								兼1
	美術と呪術	1~4前後		2			○								兼1
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2			○								兼1
	君は頭がよくなりたいかー発信力ー	1~4前後		2			○								兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2			○								兼1
	自然災害と環境問題	1~4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座II(業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2			○								兼1
	現代数学の問題	1~4前後		2			○								兼1
	組織経営の理論	1~4前後		2			○								兼1
	日本の美ーその造形の特質について	1~4前後		2			○								兼1
	現代の金融問題	1~4前後		2			○								兼1
	脳と心	1~4前後		2			○								兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>														
現代日本の社会と政治学	1~4前後		2			○								兼1	
唐詩を読む	1~4前後		2			○								兼1	
心理学入門	1~4前後		2			○								兼1	
自尊感情の心理学	1~4前後		2			○								兼1	
政治思想史入門	1~4前後		2			○								兼1	
市民のための法と裁判	1~4前後		2			○								兼1	
日本近代文学	1~4前後		2			○								兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2			○								兼1	
ジェンダーと生きることー働く	1~4前後		2			○								兼1	
未来にむけてー															
国際舞台に誘う学問入門	1~4前後		2			○								兼1	
臨床心理学入門	1~4前後		2			○								兼1	
歴史と気候：西洋史学の最前線	1~4前後		2			○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財—伝統芸術に焦点をあてて—	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査—体の異常はどこまで解るか?—	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
医学入門	1～4前後		2		○									兼1	
細胞の増え方—発生と癌化の分子メカニズム—	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
主 題 科 目	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0		—								兼152
	個 別 科 目	【情報科学系科目】														
		情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後	2			○									兼1
情報処理入門		1～4前後	2			○									兼1	
【人文・社会科学系科目】																
日本国憲法		1～2前後		2		○									兼1	
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○									兼1	
社会学で考える		1～2前後		2		○									兼1	
アジアを知る		1～2前後		2		○									兼1	
日本の思想		1～2前後		2		○									兼1	
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○									兼1	
老年社会学	1～2前後		2		○									兼1		
日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
個別科目 教養教育科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	小計（64科目）		—	4	114	0	—									兼64
	外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1
		英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1
		英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1
		英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1
		英語（読解）	2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 外国語科目	英語（検定）	2前後		2		○									兼1	
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1	
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1	
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1	
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語中級	2前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1	
	小計（55科目）	—	—	4	116	2	—	—	—	—	—	—	—	—	兼55	—
	専門教育科目 専門基礎科目	解析学Ⅰ	1前	2			○				1					
		解析学Ⅱ	1後	2			○					1				
		線形代数学Ⅰ	1前	2			○				1					
		線形代数学Ⅱ	1後	2			○					1				
数学演習		2後	2				○			1						
電磁気学		2前	2			○			1							
電子回路		2後	2			○			1							
力学		1後	2			○			1							
物理学実験		1前	1					○		1		4				
小計（9科目）		—	—	17			—	—	—	2	4	1	4			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	システム解析数学Ⅰ	1後	2			○			1						
	システム解析数学Ⅱ	2前	2			○			1						
	材料力学	2後	2			○				1					
	流体力学	2前	2			○			1						
	熱力学	3前	2			○			1						
	機械力学	2後	2			○				1					
	コンピュータ制御プログラミング	2前	2			○				1					
	生産システム基礎論	2前	2			○			1						
	デジタル電子回路	3前	2			○					1				
	システム基本製図	2前	2			○				1		1			
	システムCAD	2後	2			○				1					
	機械システム実習	1通	2					○					1		兼1
	システム工学実験	2通	2					○				2	5		
	ロボット工学実験	3通	2					○		1	2	4			
	専門英語	2前	2				○				1				
	機械システム工作法	1前	2				○								兼1
	工学実践英語	3前	2				○								兼2
	工学倫理	3前	2				○								兼1
	特別研究	4通	10					○		7	4	4	6		
	工学総合	3後		2			○			3					
	起業システム学	3後		2			○				1				兼1
	システム工学セミナーⅠ	3後		1			○								兼4
	システム工学セミナーⅡ	4前		1			○								兼4
	システム工学インターシップ	3前		2					○	1					
	メカトロニクス基礎論	2後		2			○			1					
	通信プロトコルⅠ	2前		2			○			1					
	分散システム学	3後		2			○			1			1		
	人工知能基礎学	3後		2			○						1		
	システム信頼性工学	3前		2			○			1					
	画像認識システム学	3前		2			○			1		1			
	生産システム情報学	3前		2			○			1					
	生産システム知能化論	3前		2			○				1				
	システムモデリング	2前		2			○				1				
	システム制御理論	3前		2			○			1					
	システム最適制御学	3後		2			○				1				
	ロボット機構学	3前		2			○			1					
	ロボット制御基礎論	3後		2			○			1					
	システム保全性工学	3後		2			○			1					
	知的制御システム論	3後		2			○					1			
	認知工学	3後		2			○			1					
	生産システム管理学	3後		2			○			1					
	ロボット設計論	3後		2			○								兼1
	知能ロボット学	3前		2			○				1				
	福祉機械工学	3後		2			○				1				兼1
	インターフェイス設計学	3後		2			○			1					
	生体計測学	3前		2			○					1			
小計(46科目)		—	46	52	0		—		7	4	4	6	0	兼16	—
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○									兼1
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○									兼1
	小計(2科目)		—		4		—								兼1
合計(330科目)		—	75	586	6		—		7	4	4	6		兼288	—
学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して128単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間48単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 必修科目12単位     ガイダンス科目4単位     個別科目の情報科学系科目4単位     英語（工学部）2単位     英語（ネイティブ）2単位 選択科目：主題科目8単位（4つのグループにわたること）     個別科目4単位     外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目）     その他の外国語科目の選択科目から4単位     上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして94単位以上修得すること。 必修科目63単位     専門基礎科目17単位     専門科目46単位 選択科目：専門科目31単位</p>	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(工学部電気電子工学科)既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ガイダンス科目	電気電子通信工学入門Ⅰ	1前	2			○			1	3		1		
	電気電子通信工学入門Ⅱ	1前	2			○								
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			1	3		1		
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>													
	統計の考え方	1～4前後		2			○							兼1
	哲学へのいざない	1～4前後		2			○							兼1
	哲学の展開	1～4前後		2			○							兼1
	教養特別講義1	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ(業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○							兼1
	自然と農地の恵み	1～4前後		2			○							兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ(新聞を作るー実践的メディア論)	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ(自分、大学、社会を知り人生について考える)	1～4前後		2			○							兼1
	経済政策入門	1～4前後		2			○							兼1
	物流技術革新と世界経済	1～4前後		2			○							兼1
	生命科学入門	1～4前後		2			○							兼1
	ジェンダーを考える	1～4前後		2			○							兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○							兼1
	自然界の法則を探る	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ(地球と共に考える)	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ(専門スキルを身につける①)	1～4前後		2			○							兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○							兼1
	化学のおもちゃ箱	1～4前後		2			○							兼1
	美術と呪術	1～4前後		2			○							兼1
	歴史認識論争と学校教育	1～4前後		2			○							兼1
	君は頭がよくなりたいかー発信力ー	1～4前後		2			○							兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1～4前後		2			○							兼1
	自然災害と環境問題	1～4前後		2			○							兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ(業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○							兼1
	現代数学の問題	1～4前後		2			○							兼1
	組織経営の理論	1～4前後		2			○							兼1
	日本の美ーその造形の特質について	1～4前後		2			○							兼1
	現代の金融問題	1～4前後		2			○							兼1
	脳と心	1～4前後		2			○							兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>													
現代日本の社会と政治学	1～4前後		2			○							兼1	
唐詩を読む	1～4前後		2			○							兼1	
心理学入門	1～4前後		2			○							兼1	
自尊感情の心理学	1～4前後		2			○							兼1	
政治思想史入門	1～4前後		2			○							兼1	
市民のための法と裁判	1～4前後		2			○							兼1	
日本近代文学	1～4前後		2			○							兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1～4前後		2			○							兼1	
ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1～4前後		2			○							兼1	
国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2			○							兼1	
臨床心理学入門	1～4前後		2			○							兼1	
歴史と気候：西洋史学の最前線	1～4前後		2			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財—伝統芸術に焦点をあてて—	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査—体の異常はどこまで解るか?—	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
細胞の増え方—発生と癌化の分子メカニズム—	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
主 題 科 目	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0										兼152
	個 別 科 目	【情報科学系科目】														
		情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後	2			○									兼1
情報処理入門		1～4前後	2			○									兼1	
【人文・社会科学系科目】																
日本国憲法		1～2前後		2		○									兼1	
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○									兼1	
社会学で考える		1～2前後		2		○									兼1	
アジアを知る		1～2前後		2		○									兼1	
日本の思想		1～2前後		2		○									兼1	
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○									兼1	
老年社会学	1～2前後		2		○									兼1		
日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
個別科目 教養教育科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何が出来るか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>生命・保健科学系科目</b>															
	【健康・スポーツ科学】	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	小計（64科目）	—	—	4	114	0	—									兼64
	外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1
		英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1
		英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1
		英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1
		英語（読解）	2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 外国語科目	英語（検定）	2前後		2		○									兼1	
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1	
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1	
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1	
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語中級	2前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1	
	小計（55科目）	—	—	4	116	2	—	—	—	—	—	—	—	—	兼55	—
	専門教育科目 専門基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			○				1					兼1
		微分積分学Ⅱ	1前	2			○					1				
		線形代数学Ⅰ	1前	2			○									
		物理学実験	1後	1					○		1		2			
線形代数学Ⅱ		1後	2			○				1						
数学演習		1後	1				○				2					
力学・熱統計力学		1後	2			○					1					
論理回路		1後	2			○						1				
電子物性工学Ⅰ		2前	2			○					1					
小計（9科目）	—	—	7	9	0	—	—	—	3	4	1	2		兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 専門教育科目	電磁気学Ⅰ	2前	2			○				1					
	電磁気学Ⅱ	2後	2			○				1					
	電磁気学Ⅲ	3前	2			○				1					
	電気回路学ⅠA	1前	2			○				1	1				
	電気回路学ⅠB	1後	2			○				1					
	電気回路学Ⅱ	2前	2			○				1					
	電子回路学Ⅰ	2前	2			○					1				
	電子回路学ⅡA	2後	2			○				1					
	電子回路学ⅡB	2後	2			○				1					
	微分方程式	1後	2			○				1					
	ベクトル解析	2前	2			○					1				
	フーリエ・ラプラス変換	2前	2			○				1					
	複素解析	2前	2			○					1				
	プログラミング言語	1後	1			○						1			
	プログラミング演習	1後	1			○						1			
	電気電子工学実験Ⅰ	2前	2			○					1		4		
	電気電子工学実験Ⅱ	3前	2			○					2		4		
	電気電子工学実験Ⅲ	3後	2			○					3		5		
	科学技術コミュニケーション	3前	2			○				1					
	工学倫理	3前	2			○									兼1
	専門英語Ⅰ	3前	2			○									兼1
	専門英語Ⅱ	3後	2			○									兼1
	特別講義Ⅰ	3通	1			○									兼1
	特別講義Ⅱ	4通	1			○									兼1
	特別研究	4通	10			○				8	6		5		
	電子計測	2後		2		○				1					
	電気機器学Ⅰ	2後		2		○				1					
	電気回路学Ⅲ	2後		2		○				1					
	電力系統工学Ⅰ	3前		2		○				1					
	制御工学Ⅰ	3前		2		○					1				
	パワーエレクトロニクス	3後		2		○					1				
	電磁波工学	3後		2		○					1				
	パルス・デジタル回路	3前		2		○					1				
	電子物性工学Ⅱ	2後		2		○				1					
	半導体工学	3前		2		○				1					
	電気電子材料学	3後		2		○				1					
	電子デバイス工学	3後		2		○				1					
	数値解析	3後		2		○									兼1
	情報理論	3前		2		○				1					
	電力系統工学Ⅱ	3後		2		○				1					
	電力発生工学	3後		2		○									兼1
	電気設計学	4前		2		○									兼1
	電気機器学Ⅱ	3前		2		○									兼1
	制御工学Ⅱ	3後		2		○				1					
	通信工学	3後		2		○					1				
	電気法規・施設管理	4前		2		○									兼1
	電気電子工学インターシップ	3前		2		○				1					
小計(47科目)		—	54	44	0		—		10	8	2	6		兼10	—
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○									兼1
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○									兼1
	小計(2科目)		—		4		—								兼1
合計(331科目)		—	73	587	6		—		10	8	2	6		兼283	—

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して124単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間48単位とする。 ○教養教育科目 以下の条件を満たして34単位以上修得する。 必修科目12単位 ガイダンス科目4単位 個別科目の情報科学系科目4単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位 選択科目：主題科目8単位（4つのグループにわたること） 個別科目4単位 外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目） その他の外国語科目の選択科目から4単位 上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位 ○専門教育科目 以下の条件を満たして90単位以上 必修科目61単位 専門基礎科目5単位 専門科目56単位 選択科目：専門基礎科目及び専門科目から29単位		1学年の学期区分	2学期
		1学期の授業期間	15週
		1時限の授業時間	90分

## 教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部通信ネットワーク工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ガイダンス科目	電気電子通信工学入門Ⅰ	1前	2			○			1	3		1		
	電気電子通信工学入門Ⅱ	1前	2			○			1					
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—			1	3		1		
教養教育科目 主題科目	【「現代の課題」グループ科目】													
	統計の考え方	1～4前後		2			○							兼1
	哲学へのいざない	1～4前後		2			○							兼1
	哲学の展開	1～4前後		2			○							兼1
	教養特別講義 1	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○							兼1
	自然と農地の恵み	1～4前後		2			○							兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ (新聞を作るー実践的メディア論)	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1～4前後		2			○							兼1
	経済政策入門	1～4前後		2			○							兼1
	物流技術革新と世界経済	1～4前後		2			○							兼1
	生命科学入門	1～4前後		2			○							兼1
	ジェンダーを考える	1～4前後		2			○							兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○							兼1
	自然界の法則を探る	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ (地球と共に考える)	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ (専門スキルを身につける①)	1～4前後		2			○							兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○							兼1
	化学のおもちゃ箱	1～4前後		2			○							兼1
	美術と呪術	1～4前後		2			○							兼1
	歴史認識論争と学校教育	1～4前後		2			○							兼1
	君は頭がよくなりたいかー発信力ー	1～4前後		2			○							兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1～4前後		2			○							兼1
	自然災害と環境問題	1～4前後		2			○							兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○							兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○							兼1
	現代数学の問題	1～4前後		2			○							兼1
	組織経営の理論	1～4前後		2			○							兼1
	日本の美ーその造形の特質について	1～4前後		2			○							兼1
	現代の金融問題	1～4前後		2			○							兼1
	脳と心	1～4前後		2			○							兼1
	【「人間と社会」グループ科目】													
現代日本の社会と政治学	1～4前後		2			○							兼1	
唐詩を読む	1～4前後		2			○							兼1	
心理学入門	1～4前後		2			○							兼1	
自尊感情の心理学	1～4前後		2			○							兼1	
政治思想史入門	1～4前後		2			○							兼1	
市民のための法と裁判	1～4前後		2			○							兼1	
日本近代文学	1～4前後		2			○							兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1～4前後		2			○							兼1	
ジェンダーと生きることー働く	1～4前後		2			○							兼1	
未来にむけてー														
国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2			○							兼1	
臨床心理学入門	1～4前後		2			○							兼1	
歴史と気候：西洋史学の最前線	1～4前後		2			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財—伝統芸術に焦点をあてて—	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査—体の異常はどこまで解るか?—	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
医学入門	1～4前後		2		○									兼1	
細胞の増え方—発生と癌化の分子メカニズム—	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	
歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0			—							兼152
	個別科目	【情報科学系科目】														
		情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後		2		○									兼1
情報処理入門		1～4前後		2		○									兼1	
【人文・社会科学系科目】																
日本国憲法		1～2前後		2		○									兼1	
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○									兼1	
社会学で考える		1～2前後		2		○									兼1	
アジアを知る		1～2前後		2		○									兼1	
日本の思想		1～2前後		2		○									兼1	
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○									兼1	
老年社会学	1～2前後		2		○									兼1		
日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
個別科目 教養教育科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	小計（64科目）		—	0	118	0	—									兼64
	外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1
		英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1
		英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1
		英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1
		英語（読解）	2前後		2		○									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 外国語科目	英語（検定）	2前後		2		○									兼1	
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1	
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1	
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1	
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	中国語中級	2前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1	
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1	
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1	
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1	
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1	
		小計（55科目）	—	4	116	2	—								兼55	—
	専門教育科目 専門基礎科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			○			1						兼1
		微分積分学Ⅱ	1前	2			○				1					
		線形代数学Ⅰ	1前	2			○									
		物理学実験	1後	1					○	1			2			
代数学		2前	2			○			1							
英語講読		3前	2			○				1						
線形代数学Ⅱ		1後		2		○			1							
電子回路学		2前	2			○				1						
電磁気学		2前	2			○				1						
力学・熱統計力学		1後	2			○				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	信号処理学	2前		2		○			1							
	通信工学	2後		2		○				1						
	データ構造とアルゴリズム	2後		2		○			1							
	論理回路	1後		2		○					1					
	計算機アーキテクチャⅠ	2後		2		○					1					
	情報理論	2後		2		○					1					
	通信プロトコルⅠ	2前		2		○			1							
	通信プロトコルⅡ	2後		2		○			1							
	数学演習	1後		1			○			2						
	小計 (19科目)	—		11	25	0	—			6	6	2	2			兼1
専門教育科目	電気回路学ⅠA	1前	2			○				1						
	電気回路学ⅠB	1後	2			○			1							
	微分方程式	1後	2			○			1							
	フーリエ・ラプラス変換	2前	2			○			1							
	組合せ数学	2前	2			○			1							
	確率統計論	2後	2			○				1						
	グラフ理論	2後	2			○			1							
	通信ネットワーク工学演習Ⅰ	2前	1				○		6	4	2	3				
	通信ネットワーク工学演習Ⅱ	2後	1				○		6	4	2	3				
	通信ネットワーク工学演習Ⅲ	3前	1				○		6	4	2	3				
	通信ネットワーク工学演習Ⅳ	3後	1				○		6	4	2	3				
	プログラミング言語	1後	1			○					1					
	プログラミング演習	1後	1				○				1					
	応用プログラミング言語Ⅰ	2前	1			○							1			
	応用プログラミング演習Ⅰ	2前	1				○						1			
	応用プログラミング言語Ⅱ	2後	1			○							1			
	応用プログラミング演習Ⅱ	2後	1				○						1			
	通信ネットワーク工学実験Ⅰ	3前	3					○			2					
	通信ネットワーク工学実験Ⅱ	3後	3					○			1					
	特別研究	4通	10					○		6	4	2	3			
	複素解析	2前		2			○				1					
	パルス・デジタル回路	3前		2			○				1					
	電気回路学Ⅱ	3前		2			○			1						
	電波システム工学	3後		2			○			1						
	計算機アーキテクチャⅡ	3前		2			○					1				
	分散システム学	3後		2			○			1				1		
	ネットワークセキュリティ	3前		2			○			1						
	モバイル通信方式	3後		2			○			1						
	電気回路学Ⅲ	3後		2			○			1						
	制御工学Ⅰ	3前		2			○				1					
	画像認識システム学	3前		2			○					1				
	インターフェイス設計学	3後		2			○			1						
	オートマトンと形式言語	4前		2			○			1						
	環境電磁工学	4前		2			○				1					
	スペクトラム拡散通信	4前		2			○				1					
	統計解析学	4前		2			○				1					
	情報セキュリティ	4前		2			○									兼1
	数理計画	4前		2			○			1						
	マルチメディア工学	4前		2			○									兼1
	通信ネットワーク工学インターソフツ	3前		2					○	1						
	情報化社会と技術	4前		2			○				1					
	通信ネットワーク工学特別講義 (情報と職業)	4前		2			○				1					
	工学倫理	3前		2			○									兼1
小計 (43科目)	—		40	46	0	—			10	6	2	5	0		兼3	
教職に関する科目	教職論	1後			2	○									兼1	
	教育学概説	1後			2	○									兼3	
	学校教育心理学	1前			2	○									兼1	
	教育の制度と社会	2前			2	○									兼1	
	人権・同和教育	1後			2	○									兼1	
	カリキュラム論	2前			2	○									兼1	
	情報科教育法	3前			2	○									兼1	
	特別活動論	2前			2	○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 教職に関する科目	学習指導論	2前			2	○									兼1
	学習指導心理学	2前後			2	○									兼1
	教育評価・測定	2後			2	○									兼1
	生徒指導論Ⅰ（教育相談・進路指導を含む）	2後			2	○									兼1
	教育相談論B	3前			2	○									兼1
	生徒指導論ⅡB	2後			2	○									兼1
	総合演習	3前			2		○								兼1
	教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	4前			1			○							兼1
	教育実習Ⅴ（高等学校）	4前			3			○							兼1
	小計（17科目）	—	0	0	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼19
合計（352科目）		—	59	609	36	—	—	—	10	6	2	5	0	兼299	—
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して129単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間52単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして34単位以上修得すること。 必修科目8単位 ガイダンス科目4単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位</p> <p>選択科目：主題科目8単位（4つのグループにわたること） 個別科目の自然科学系科目2単位 外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目） その他の外国語科目の選択科目から4単位 上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から8単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして95単位以上修得すること。 必修科目51単位 専門基礎科目11単位 専門科目40単位</p> <p>選択科目：専門基礎科目・専門科目から44単位</p>							1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

## 教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部情報工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	情報工学概論	1前	2			○			1						
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			1						
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>														
	統計の考え方	1～4前後		2			○								兼1
	哲学へのいざない	1～4前後		2			○								兼1
	哲学の展開	1～4前後		2			○								兼1
	教養特別講義 1	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○								兼1
	自然と農地の恵み	1～4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ (新聞を作るー実践的メディア論)	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1～4前後		2			○								兼1
	経済政策入門	1～4前後		2			○								兼1
	物流技術革新と世界経済	1～4前後		2			○								兼1
	生命科学入門	1～4前後		2			○								兼1
	ジェンダーを考える	1～4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1～4前後		2			○								兼1
	自然界の法則を探る	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ (地球と共に考える)	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ (専門スキルを身につける①)	1～4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○								兼1
	化学のおもちゃ箱	1～4前後		2			○								兼1
	美術と呪術	1～4前後		2			○								兼1
	歴史認識論争と学校教育	1～4前後		2			○								兼1
	君は頭がよくなりたかー発信力ー	1～4前後		2			○								兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1～4前後		2			○								兼1
	自然災害と環境問題	1～4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1～4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1～4前後		2			○								兼1
	現代数学の問題	1～4前後		2			○								兼1
	組織経営の理論	1～4前後		2			○								兼1
	日本の美ーその造形の特徴について	1～4前後		2			○								兼1
	現代の金融問題	1～4前後		2			○								兼1
	脳と心	1～4前後		2			○								兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>														
現代日本の社会と政治学	1～4前後		2			○								兼1	
唐詩を読む	1～4前後		2			○								兼1	
心理学入門	1～4前後		2			○								兼1	
自尊心の心理学	1～4前後		2			○								兼1	
政治思想史入門	1～4前後		2			○								兼1	
市民のための法と裁判	1～4前後		2			○								兼1	
日本近代文学	1～4前後		2			○								兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1～4前後		2			○								兼1	
ジェンダーと生きることー働く	1～4前後		2			○								兼1	
未来にむけてー															
国際舞台に誘う学問入門	1～4前後		2			○								兼1	
臨床心理学入門	1～4前後		2			○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	歴史と気候：西洋史学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財－伝統芸術に焦点をあてて－	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査－体の異常はどこまで解るか？－	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
環境と健康	1～4前後		2		○									兼1	
学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1	
成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1	
口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1	
創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1	
くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1	
医学入門	1～4前後		2		○									兼1	
細胞の増え方－発生と癌化の分子メカニズム－	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	<b>【「自然と技術」グループ科目】</b>															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0	—									兼152
	個別科目	<b>【人文・社会科学系科目】</b>														
日本国憲法		1～2前後		2		○									兼1	
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○									兼1	
社会学で考える		1～2前後		2		○									兼1	
アジアを知る		1～2前後		2		○									兼1	
日本の思想		1～2前後		2		○									兼1	
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○									兼1	
老年社会学		1～2前後		2		○									兼1	
日本史を見る眼		1～2前後		2		○									兼1	
明治美術と西洋		1～2前後		2		○									兼1	
人間関係論入門		1～2前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	<b>【情報科学系科目】</b>															
	情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後			2	○										兼1 卒業要件外
	情報処理入門	1～4前後			2	○										兼1 卒業要件外
	小計（64科目）		—	0	114	4	—									兼64

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
教養教育科目 外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1	卒業要件外	
	英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1		
	英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1		
	英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1		
	英語（読解）	2前後		2		○									兼1		
	英語（検定）	2前後		2		○									兼1		
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1		
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1		
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1		
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語中級	2前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
小計（55科目）		—	4	116	2	—								兼55	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	数理論理学	2前	2			○				1					
	確率統計	2前		2		○				1					
	専門英語	3後		2		○			1	1	1	1			
	計算機数学Ⅰ	1前		2		○					1				兼1
	計算機数学Ⅱ	1後		2		○					1				兼1
	小計(5科目)	—	2	8	0	—	—	—	1	3	2	1			兼1
専門教育科目	応用数学第一	2後	2			○			1						
	応用解析	2前	2			○			1						
	情報理論	2前	2			○					1				
	プログラミング理論	1前	2			○					1				
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			○				1					
	人工知能	3前	2			○			1						
	論理型言語	3前	2			○			1						
	非手続き型言語	3前	2			○			1			1			
	情報ネットワーク論	3後	2			○			1						兼1
	プログラミング技法	3後	2			○				1					
	オペレーティングシステム	2後	2			○			1						
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2後	2			○			1						
	コンピュータハードウェアⅠ	2前	2			○			1						
	プログラミング演習第一	1通	2				○			1			3		
	プログラミング演習第二	2前	2				○				1		1		
	システムプログラミング	2後	4			○			1	1			1		
	情報工学実験第一	3前	3								1		2		
	情報工学実験第二	3前	3								1		2		
	情報工学実験第三	3後	1							1			2		
	情報工学実験第四	3後	2							1			2		
	特別研究	4通	10				○			5	4	3	6	1	
	応用数学第二	3前		2			○			1					
	グラフ理論	1後		2			○					1			
	計算理論	3後		2			○								兼1
	言語解析論	2後		2			○					1			
	画像処理	2後		2			○			1			1		
	プログラミング言語論	1後		2			○			1					
	コンピュータグラフィックス	3後		2			○			1			1		
	コンピュータアーキテクチャⅡ	3前		2			○			1					
	コンピュータハードウェアⅡ	3後		2			○			1					
	論理設計	1前		2			○					1			
	知識工学	3前		2			○					1			
	コンパイラ	2後		2			○								兼1
	アルゴリズムと計算量	3後		2			○					1			
	符号理論	3前		2			○								兼1
	計測と数値計算	2前		2			○			1			1		
	パターン認識と学習	3前		2			○					1			
	映像メディア処理	3後		2			○			1					
	並行プログラミング	3前		2			○				1				
	データベース論	3後		2			○				1				
	制御論	3前		2			○			1					
	センサ工学	3後		2			○								兼1
	コンピュータシステムⅠ	3前		2			○				1				
	コンピュータシステムⅡ	3後		2			○				1				
	オブジェクト指向プログラミング	3後		2			○								兼1
	情報倫理	3前		2			○			1			2		
	情報化における職業	4前		2			○			1					
	小計(47科目)	—	53	52	0	—	—	—	5	4	3	6	1	兼6	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目 教職に関する科目	教職論	1後			2	○										兼1
	教育学概説	1後			2	○										兼3
	学校教育心理学	1前			2	○										兼1
	教育の制度と社会	2前			2	○										兼1
	人権・同和教育	1後			2	○										兼1
	カリキュラム論	2前			2	○										兼1
	情報科教育法	3前			2	○										兼1
	特別活動論	2前			2	○										兼1
	学習指導論	2前			2	○										兼1
	学習指導心理学	2前後			2	○										兼1
	教育評価・測定	2後			2	○										兼1
	生徒指導論Ⅰ（教育相談・進路指導を含む）	2後			2	○										兼1
	教育相談論B	3前			2	○										兼1
	生徒指導論ⅡB	2後			2	○										兼1
	総合演習	3前			2		○									兼1
	教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	4前			1			○								兼1
	教育実習Ⅴ（高等学校）	4前			3			○								兼1
小計（17科目）	—	0	0	34	—										兼19	
合計（341科目）		—	61	594	40	—			5	4	3	6	1	兼297	—	
学位又は称号	学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して128単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間56単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして38単位以上修得する。 必修科目6単位 ガイダンス科目2単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位</p> <p>選択科目：主題科目8単位（4つのグループにわたること。） 外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目） 上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から20単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして90単位以上修得する。 必修科目55単位 専門基礎科目2単位 専門科目53単位</p> <p>選択科目：専門基礎科目・専門科目から35単位</p>						1学年の学期区分			2学期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							

教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部物質応用化学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	化学入門	1前	2			○				1					
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—				1					
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>														
	統計の考え方	1~4前後		2			○								兼1
	哲学へのいざない	1~4前後		2			○								兼1
	哲学の展開	1~4前後		2			○								兼1
	教養特別講義 1	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2			○								兼1
	自然と農地の恵み	1~4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ (新聞を作るー実践的メディア論)	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2			○								兼1
	経済政策入門	1~4前後		2			○								兼1
	物流技術革新と世界経済	1~4前後		2			○								兼1
	生命科学入門	1~4前後		2			○								兼1
	ジェンダーを考える	1~4前後		2			○								兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2			○								兼1
	自然界の法則を探る	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ (地球と共に考える)	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ (専門スキルを身につける①)	1~4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2			○								兼1
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2			○								兼1
	美術と呪術	1~4前後		2			○								兼1
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2			○								兼1
	君は頭がよくなりたいかー発信力ー	1~4前後		2			○								兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2			○								兼1
	自然災害と環境問題	1~4前後		2			○								兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2			○								兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2			○								兼1
	現代数学の問題	1~4前後		2			○								兼1
	組織経営の理論	1~4前後		2			○								兼1
	日本の美ーその造形の特徴について	1~4前後		2			○								兼1
	現代の金融問題	1~4前後		2			○								兼1
	脳と心	1~4前後		2			○								兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>														
	現代日本の社会と政治学	1~4前後		2			○								兼1
	唐詩を読む	1~4前後		2			○								兼1
	心理学入門	1~4前後		2			○								兼1
自尊感情の心理学	1~4前後		2			○								兼1	
政治思想史入門	1~4前後		2			○								兼1	
市民のための法と裁判	1~4前後		2			○								兼1	
日本近代文学	1~4前後		2			○								兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2			○								兼1	
ジェンダーと生きることー働く	1~4前後		2			○								兼1	
未来にむけてー															
国際舞台に誘う学問入門	1~4前後		2			○								兼1	
臨床心理学入門	1~4前後		2			○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	歴史と気候：西洋史学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財－伝統芸術に焦点をあてて－	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査－体の異常はどこまで解るか？－	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
医学入門	1～4前後		2		○									兼1	
細胞の増え方－発生と癌化の分子メカニズム－	1～4前後		2		○									兼1	
キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1	
生物と環境	1～4前後		2		○									兼1	
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	主題科目	歯と骨の科学		2		○									兼1	
		健康と医薬品		2		○									兼1	
		核酸化学と医療：いま世界で		2		○									兼1	
		くすりの話		2		○									兼1	
		生命の倫理		2		○									兼1	
		生命の不思議		2		○									兼1	
		国際協力とボランティア		2		○									兼1	
		現代生物学入門		2		○									兼1	
		ライフサイエンス入門		2		○									兼1	
		薬学の最前線		2		○									兼1	
		動物の進化		2		○									兼1	
		【「自然と技術」グループ科目】														
		現代物理学の基礎概念		2		○										兼1
		力学の考え方		2		○										兼1
		物理学への招待		2		○										兼1
		数理科学入門		2		○										兼1
		有機分子のつくる世界		2		○										兼1
		環境保全のための化学技術		2		○										兼1
		資源保護		2		○										兼1
		食料と経済		2		○										兼1
		植物医科学入門		2		○										兼1
		公園を創る 庭園を楽しむ		2		○										兼1
		生活の中の微生物		2		○										兼1
		科学の扉を開く：自然界の毒		2		○										兼1
		放射線安全システム工学及び実験		2		○										兼1
		生物学：入門と基礎		2		○										兼1
		科学の歩み		2		○										兼1
		地球科学入門（地球科学的自然観）		2		○										兼1
		地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵		2		○										兼1
		生物学：入門からやさしい応用まで		2		○										兼1
		身近な化学		2		○										兼1
		環境気象学入門		2		○										兼1
		自然と数理		2		○										兼1
		実験で探る身近な自然		2		○										兼1
		遺伝子工学の夜明け		2		○										兼1
		人間と環境		2		○										兼1
		機械のしくみ		2		○										兼1
		モノづくりの科学		2		○										兼1
		科学技術論文の作成技術		2		○										兼1
		社会生活と材料工学		2		○										兼1
		バイオテクノロジー入門		2		○										兼1
		環境倫理学		2		○										兼1
		地球科学入門		2		○										兼1
		食と人間		2		○										兼1
		作物のルーツと栽培の歴史		2		○										兼1
		生活の中の技術		2		○										兼1
		生物学と技術		2		○										兼1
		化学の最前線		2		○										兼1
		農学の最前線		2		○										兼1
		日本の工業と技術		2		○										兼1
		小計（152科目）		—		304	0			—						兼152
		個別科目	【人文・社会科学系科目】													
日本国憲法			2		○									兼1		
南オレゴン地域研究			2		○									兼1		
社会学で考える			2		○									兼1		
アジアを知る			2		○									兼1		
日本の思想			2		○									兼1		
芸能・祭からみた世界			2		○									兼1		
老年社会学			2		○									兼1		
日本史を見る眼		2		○									兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	<b>【情報科学系科目】</b>															
	情報処理入門（情報機器の操作を含む）	1～4前後		2		○										兼1
	情報処理入門	1～4前後		2		○										兼1
	小計（64科目）		—		118	0			—							兼64

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養教育科目 外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1	卒業要件外	
	英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1		
	英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1		
	英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1		
	英語（読解）	2前後		2		○									兼1		
	英語（検定）	2前後		2		○									兼1		
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1		
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1		
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1		
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語中級	2前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
小計（55科目）		—	4	116	2	—								兼55	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門基礎科目	物理学実験	1前	1			○					1						
	基礎化学実験 1	1後	1			○			3			1					
	数学基礎 1	1前		2				○								兼1	
	数学基礎 2	1後		2		○										兼1	
	物理学基礎	3前		2		○										兼1	
	工学倫理	3前		2		○										兼1	
	分析化学	3後		2		○			1								
	小計 (7科目)	—	2	10	0			—	1	3	1	1				兼3	
	専門教育科目	安全化学	1後	2			○				1						兼1
		化学英語	2前	2			○				3						兼1
		化学装置設計製図	3前	2			○			1							
		基礎化学実験 2	2後	2					○		4	1	1				
		応用化学実験 1	3前	2					○	7	7	3	7				
		応用化学実験 2	3前	2					○	7	7	3	7				
		応用化学実験 3	3後	2					○	7	7	3	7				
		特別研究	4通	10				○		7	7	3	7				
		物理化学及び演習 1	1前	3				○	○				1				
		物理化学及び演習 2	1後	3				○	○			1					
		有機化学及び演習 1	1前	3				○	○	1	1						
		有機化学及び演習 2	1後	3				○	○	1	1						
無機化学及び演習 1		2前	3				○	○	1			1					
無機化学及び演習 2		2後	3				○	○			1						
物理化学 3		2前		2			○				1						
物理化学 4		2後		2			○				1						
物理化学 5		2後		2			○		1								
量子化学		2前		2			○		1	1							
有機化学及び演習 3		2前		3				○	2								
有機化学及び演習 4		2後		3				○	2								
機器分析		2後		2			○			1							
物質化学基礎		1前		2			○		1								
無機化学 3		3前		2			○			1							
化学工学 1		2前		2			○		1								
化学工学 2		2前		2			○			1							
高分子化学		2後		2			○				1						
基礎生物化学		3前		2			○			1							
立体化学		3前		2			○		1								
有機金属化学		3前		2			○		1								
物理有機化学		3前		2			○			1		1					
分子変換化学		3前		2			○		1								
触媒反応工学		3前		2			○		1	1							
材料化学工学		3後		2			○		1								
無機材料化学		3後		2			○		1	1							
無機物性化学		3後		2			○			1		2					
高分子材料化学		3後		2			○										
物質応用化学各論 1		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 2		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 3		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 4		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 5		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 6		4前		1			○		1							兼1	
物質応用化学各論 7	4前		1			○		1							兼1		
物質応用化学各論 8	4前		1			○		1							兼1		
物質応用化学各論 9	4前		1			○		1							兼1		
物質応用化学各論 10	4前		1			○		1							兼1		
物質応用化学各論 11	4前		2			○		1							兼1		
物理化学特別基礎	3前		2			○		1									
有機化学特別基礎	3前		2			○		1									
無機化学特別基礎	3後		2			○		1									
化学インターンシップ	3前		2					○	1								
小計 (51科目)	—	42	66	0			—	7	7	3	7				兼13	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○									兼1
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○									兼1
	小計 (2科目)	—			4	—									兼1
専門教育科目	教職論	1後			2	○									兼1
	教育学概説	1後			2	○									兼3
	学校教育心理学	1前			2	○									兼1
	教育の制度と社会	2前			2	○									兼1
	人権・同和教育	1後			2	○									兼1
	カリキュラム論	2前			2	○									兼1
	中等理科教育法ⅠA	3前			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅠB	3前			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅡA	3後			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅡB	3後			1	○									兼1
	特別活動論	2前			2	○									兼1
	学習指導論	2前			2	○									兼1
	学習指導心理学	2前後			2	○									兼1
	教育評価・測定	2後			2	○									兼1
	生徒指導論Ⅰ (教育相談・進路指導を含む)	2後			2	○									兼1
	教育相談論B	3前			2	○									兼1
	生徒指導論ⅡB	2後			2	○									兼1
	総合演習	3前			2		○								兼1
	教育実習Ⅱ (教育実習基礎研究)	4前			1			○							兼1
	教育実習Ⅴ (高等学校)	4前			3			○							兼1
小計 (20科目)	—	0	0	36	—									兼22	
合計 (352科目)		—	50	614	42	—			7	7	3	7		兼310	—
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して124単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間48単位とする。 ○教養教育科目 以下の条件を満たして32単位以上修得する。 必修科目6単位 ガイダンス科目2単位 英語 (工学部) 2単位 英語 (ネイティブ) 2単位 選択科目: 主題科目8単位 (4つのグループにわたること) 個別科目8単位 外国語科目の英語科目のうち4単位 (2科目) その他の外国語科目の選択科目から4単位 上記の他、主題科目・個別科目・外国語科目から2単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして92単位以上修得する。 必修科目44単位 専門基礎科目2単位 専門科目42単位 選択科目: 専門基礎科目6単位 専門科目42単位</p>							1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

教育課程等の概要 (事前伺い)

(工学部生物機能工学科) 既設

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ガイダンス科目	生物機能工学入門	1前	2			○			1						
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			1						
教養教育科目 主題科目	<b>【「現代の課題」グループ科目】</b>														
	統計の考え方	1~4前後		2		○									兼1
	哲学へのいざない	1~4前後		2		○									兼1
	哲学の展開	1~4前後		2		○									兼1
	教養特別講義 1	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2		○									兼1
	自然と農地の恵み	1~4前後		2		○									兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅰ (新聞を作るー実践的メディア論)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅰ (自分、大学、社会を知り人生について考える)	1~4前後		2		○									兼1
	経済政策入門	1~4前後		2		○									兼1
	物流技術革新と世界経済	1~4前後		2		○									兼1
	生命科学入門	1~4前後		2		○									兼1
	ジェンダーを考える	1~4前後		2		○									兼1
	現代日本の考究	1~4前後		2		○									兼1
	自然界の法則を探る	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅱ (地球と共に考える)	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成総合演習Ⅲ (専門スキルを身につける①)	1~4前後		2		○									兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2		○									兼1
	化学のおもちゃ箱	1~4前後		2		○									兼1
	美術と呪術	1~4前後		2		○									兼1
	歴史認識論争と学校教育	1~4前後		2		○									兼1
	君は頭がよくなりたいかー発信力ー	1~4前後		2		○									兼1
	現代の環境問題と科学・技術	1~4前後		2		○									兼1
	自然災害と環境問題	1~4前後		2		○									兼1
	大学授業改善論	1~4前後		2		○									兼1
	キャリア形成基礎講座Ⅱ (業界最前線に触れ、社会で必要な力を養う)	1~4前後		2		○									兼1
	現代数学の問題	1~4前後		2		○									兼1
	組織経営の理論	1~4前後		2		○									兼1
	日本の美ーその造形の特質について	1~4前後		2		○									兼1
	現代の金融問題	1~4前後		2		○									兼1
	脳と心	1~4前後		2		○									兼1
	<b>【「人間と社会」グループ科目】</b>														
現代日本の社会と政治学	1~4前後		2		○									兼1	
唐詩を読む	1~4前後		2		○									兼1	
心理学入門	1~4前後		2		○									兼1	
自尊心の心理学	1~4前後		2		○									兼1	
政治思想史入門	1~4前後		2		○									兼1	
市民のための法と裁判	1~4前後		2		○									兼1	
日本近代文学	1~4前後		2		○									兼1	
外国語を学ぶ、世界が広がる	1~4前後		2		○									兼1	
ジェンダーと生きることー働く未来にむけてー	1~4前後		2		○									兼1	
国際舞台に誘う学問入門	1~4前後		2		○									兼1	
臨床心理学入門	1~4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 主題科目	歴史と気候：西洋史学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	トルコのことばと社会	1～4前後		2		○									兼1
	国語教科書を読む	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流の中の日本語	1～4前後		2		○									兼1
	日本の伝統芸能	1～4前後		2		○									兼1
	彫刻入門	1～4前後		2		○									兼1
	音楽の世界	1～4前後		2		○									兼1
	生活とモノづくり	1～4前後		2		○									兼1
	オーストラリアの教育	1～4前後		2		○									兼1
	地理学基礎論	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅰ	1～4前後		2		○									兼1
	政治の思想史	1～4前後		2		○									兼1
	日本語の語彙とその歴史	1～4前後		2		○									兼1
	国連について考える	1～4前後		2		○									兼1
	法哲学入門	1～4前後		2		○									兼1
	今昔物語集入門	1～4前後		2		○									兼1
	ボランティアの世界	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その一）…愛すること」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その二）…愛と死の現象学」	1～4前後		2		○									兼1
	「生きる（その四）…他者と生きる」	1～4前後		2		○									兼1
	自己理解の心理学	1～4前後		2		○									兼1
	ヨーロッパ地域論	1～4前後		2		○									兼1
	現代韓国地域研究	1～4前後		2		○									兼1
	雇用と法	1～4前後		2		○									兼1
	オペラの中の女性像	1～4前後		2		○									兼1
	美術鑑賞入門	1～4前後		2		○									兼1
	国際貢献論	1～4前後		2		○									兼1
	社会心理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	留学生支援ボランティア実習Ⅱ	1～4前後		2		○									兼1
	日本の戦争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の文化財－伝統芸術に焦点をあてて－	1～4前後		2		○									兼1
	日本経済と政治の諸問題	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅡ	1～4前後		2		○									兼1
	世界の紛争と平和	1～4前後		2		○									兼1
	日本の宗教・文学小史	1～4前後		2		○									兼1
	異文化コミュニケーションⅠ	1～4前後		2		○									兼1
	教育の制度	1～4前後		2		○									兼1
	国際交流と平和A	1～4前後		2		○									兼1
	知らなきゃやばい、大人のマナー	1～4前後		2		○									兼1
	金融論入門	1～4前後		2		○									兼1
	考古学の最前線	1～4前後		2		○									兼1
	ヘルスプロモーションで読み解く社会事業	1～4前後		2		○									兼1
	<b>【「健やかに生きる」グループ科目】</b>														
	痛みの科学	1～4前後		2		○									兼1
	生と性、病と死	1～4前後		2		○									兼1
	生命倫理学入門	1～4前後		2		○									兼1
	最新の医学検査－体の異常はどこまで解るか？－	1～4前後		2		○									兼1
	健康と病気	1～4前後		2		○									兼1
	環境と健康	1～4前後		2		○									兼1
	学際的研究と臨床	1～4前後		2		○									兼1
	成長・老化の人間学	1～4前後		2		○									兼1
	口の機能と健康管理	1～4前後		2		○									兼1
	創薬のための基礎化学	1～4前後		2		○									兼1
	くすりを考える	1～4前後		2		○									兼1
	医学入門	1～4前後		2		○									兼1
	細胞の増え方－発生と癌化の分子メカニズム－	1～4前後		2		○									兼1
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1～4前後		2		○									兼1
	生物と環境	1～4前後		2		○									兼1
生活習慣・環境と病気	1～4前後		2		○									兼1	
健康と口の病気	1～4前後		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	歯と骨の科学	1～4前後		2		○									兼1	
	健康と医薬品	1～4前後		2		○									兼1	
	核酸化学と医療：いま世界で	1～4前後		2		○									兼1	
	くすりの話	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の倫理	1～4前後		2		○									兼1	
	生命の不思議	1～4前後		2		○									兼1	
	国際協力とボランティア	1～4前後		2		○									兼1	
	現代生物学入門	1～4前後		2		○									兼1	
	ライフサイエンス入門	1～4前後		2		○									兼1	
	薬学の最前線	1～4前後		2		○									兼1	
	動物の進化	1～4前後		2		○									兼1	
	【「自然と技術」グループ科目】															
	現代物理学の基礎概念	1～4前後		2		○										兼1
	力学の考え方	1～4前後		2		○										兼1
	物理学への招待	1～4前後		2		○										兼1
	数理科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	有機分子のつくる世界	1～4前後		2		○										兼1
	環境保全のための化学技術	1～4前後		2		○										兼1
	資源保護	1～4前後		2		○										兼1
	食料と経済	1～4前後		2		○										兼1
	植物医科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	公園を創る 庭園を楽しむ	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の微生物	1～4前後		2		○										兼1
	科学の扉を開く：自然界の毒	1～4前後		2		○										兼1
	放射線安全システム工学及び実験	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門と基礎	1～4前後		2		○										兼1
	科学の歩み	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門（地球科学的自然観）	1～4前後		2		○										兼1
	地層や化石から学ぶ地球の歴史と防災の知恵	1～4前後		2		○										兼1
	生物学：入門からやさしい応用まで	1～4前後		2		○										兼1
	身近な化学	1～4前後		2		○										兼1
	環境気象学入門	1～4前後		2		○										兼1
	自然と数理	1～4前後		2		○										兼1
	実験で探る身近な自然	1～4前後		2		○										兼1
	遺伝子工学の夜明け	1～4前後		2		○										兼1
	人間と環境	1～4前後		2		○										兼1
	機械のしくみ	1～4前後		2		○										兼1
	モノづくりの科学	1～4前後		2		○										兼1
	科学技術論文の作成技術	1～4前後		2		○										兼1
	社会生活と材料工学	1～4前後		2		○										兼1
	バイオテクノロジー入門	1～4前後		2		○										兼1
	環境倫理学	1～4前後		2		○										兼1
	地球科学入門	1～4前後		2		○										兼1
	食と人間	1～4前後		2		○										兼1
	作物のルーツと栽培の歴史	1～4前後		2		○										兼1
	生活の中の技術	1～4前後		2		○										兼1
	生物学と技術	1～4前後		2		○										兼1
	化学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	農学の最前線	1～4前後		2		○										兼1
	日本の工業と技術	1～4前後		2		○										兼1
	小計（152科目）		—		304	0		—								兼152
	個別科目	【情報科学系科目】														
情報処理入門（情報機器の操作を含む）		1～4前後	2			○										兼1
【人文・社会科学系科目】																
日本国憲法		1～2前後		2		○										兼1
南オレゴン地域研究		1～2前後		2		○										兼1
社会学で考える		1～2前後		2		○										兼1
アジアを知る		1～2前後		2		○										兼1
日本の思想		1～2前後		2		○										兼1
芸能・祭からみた世界		1～2前後		2		○										兼1
老年社会学	1～2前後		2		○										兼1	
日本史を見る眼	1～2前後		2		○										兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目 個別科目	明治美術と西洋	1～2前後		2		○									兼1	
	人間関係論入門	1～2前後		2		○									兼1	
	計量経済学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	経営学の基礎	1～2前後		2		○									兼1	
	現代アメリカ社会研究	1～2前後		2		○									兼1	
	ヨーロッパ美術史	1～2前後		2		○									兼1	
	哲学の世界	1～2前後		2		○									兼1	
	文化人類学の考え方	1～2前後		2		○									兼1	
	教育経済学	1～2前後		2		○									兼1	
	財政学入門	1～2前後		2		○									兼1	
	アジアを知る	1～2前後		2		○									兼1	
	西欧倫理思想の源流	1～2前後		2		○									兼1	
	日本史を見る眼	1～2前後		2		○									兼1	
	音楽への招待	1～2前後		2		○									兼1	
	<b>【自然科学系科目】</b>															
	教養解析数理科	1～2前後		2		○										兼1
	コンピュータ科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	情報数学	1～2前後		2		○										兼1
	教養線型数理科	1～2前後		2		○										兼1
	統計学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅰ（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代物理学（量子力学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養物理学A（力学）	1～2前後		2		○										兼1
	システム工学で何ができるか	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学Ⅱ（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	自然科学史	1～2前後		2		○										兼1
	ソフトウェア工学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理学B（電磁気学）	1～2前後		2		○										兼1
	教養化学実験	1～2前後		1					○							兼1
	初等物理学	1～2前後		2		○										兼1
	初等生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養現代化学	1～2前後		2		○										兼1
	教養有機化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学2	1～2前後		2		○										兼1
	教養物理化学	1～2前後		2		○										兼1
	現代化学1	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学実験	1～2前後		1					○							兼1
	教養生物学	1～2前後		2		○										兼1
	教養生物学（生物工学入門）	1～2前後		2		○										兼1
	ガーデニング入門（実習を含む）	1～2前後		2		○										兼1
	生物と機械	1～2前後		2		○										兼1
	気象・気候システム科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	地球惑星科学入門	1～2前後		2		○										兼1
	教養地球科学実験	1～2前後		1					○							兼1
	宇宙の科学	1～2前後		2		○										兼1
	初等数学	1～2前後		2		○										兼1
	初等化学	1～2前後		2		○										兼1
	<b>【生命・保健科学系科目】</b>															
	健康・スポーツ科学	1～4前後		2		○										兼1
	スポーツ実習A	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習B	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習C	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習D	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習E	1～3前後		1					○							兼1
	スポーツ実習F	1～3前後		1					○							兼1
	<b>【情報科学系科目】</b>															
	情報処理入門	1～4前後		2		○										兼1
	小計（64科目）		—	2	116	0		—								兼64

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養教育科目 外国語科目	英語（工学部）	1前	2			○									兼1	卒業要件外	
	英語（ネイティブ）	1後	2			○									兼1		
	英語（オラコン）	2前後		2		○									兼1		
	英語（作文・文法）	2前後		2		○									兼1		
	英語（読解）	2前後		2		○									兼1		
	英語（検定）	2前後		2		○									兼1		
	上級英語	1～4前後		2		○									兼1		
	英語特別演習 1	3～4前後		2			○								兼1		
	英語特別演習 2	3～4前後		2			○								兼1		
	基礎英語	1～4前後			2	○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	ドイツ語中級	2前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	フランス語中級	2前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	中国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	中国語中級	2前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅰ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（総合）	1前後		4		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（文法）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語初級Ⅱ（読本）	1前後		2		○									兼1		
	韓国語中級	2前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	ロシア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	スペイン語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅰ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（文法）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語初級Ⅱ（読本）	1～4前後		2		○									兼1		
	イタリア語中級	1～4前後		2		○									兼1		
	日本語A	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語B	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語C	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
	日本語D	1～2前後		2		○									兼1		留学生のみ
小計（55科目）		—	4	116	2	—								兼55	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	生物科学序論	1前	2			○			1						
	専門英語講読Ⅰ	2前	2			○			8	8		8	1		
	専門英語講読Ⅱ	4前	2			○			8	8		8	1		
	基礎化学実験	2後	2					○	8	8		8	1		
	小計(4科目)	—	8	0	0	—			8	8		8	1		
専門教育科目	物理化学Ⅰ	1前	2			○			1						
	物理化学Ⅱ	2前	2			○			1						
	物理化学Ⅲ	2後	2			○			1						
	物理化学Ⅳ	2後	2			○			1						
	有機化学Ⅰ	1後	2			○			1						
	有機化学Ⅱ	2前	2			○			1						
	有機化学Ⅲ	2後	2			○			1	1					
	基礎量子化学	1後	2			○			1						
	無機化学Ⅰ	2前	2			○			1						
	無機化学Ⅱ	2後	2			○				1					
	生化学Ⅰ	1後	2			○			1						
	生化学Ⅱ	2前	2			○				1					
	生化学Ⅲ	2後	2			○			1						
	化学工学Ⅰ	2前	2			○			1						
	化学工学Ⅱ	2後	2			○						1			
	生物物理学Ⅰ	2前	2			○			1						
	酵素工学Ⅰ	3前	2			○			1						
	生物反応工学	3前	2			○			1						
	細胞生物学Ⅰ	3前	2			○			1						
	遺伝子工学Ⅰ	3前	2			○			1						
	生物光化学	3前	2			○			1						
	蛋白質工学Ⅰ	3前	2			○			1						
	工業数学Ⅰ及び演習	1前	2					○						兼1	
	工業数学Ⅱ及び演習	1後	2					○						兼1	
	生物機能工学実験Ⅰ	3前	2						○	8	8		8	1	
	生物機能工学実験Ⅱ	3前	2						○	8	8		8	1	
	生物機能工学実験Ⅲ	3後	2						○	8	8		8	1	
	生物機能工学実験Ⅳ	3後	2						○	8	8		8	1	
	特別研究	4通	10					○		8	8		8	1	
	遺伝子工学Ⅱ	3後		2			○					1			
	細胞生物学Ⅱ	3後		2			○			1					
	酵素工学Ⅱ	3後		2			○			1					
	生物化学工学	3後		2			○			1					
	化学生物学	3後		2			○				1				
	有機化学Ⅳ	3後		2			○				1				
	生物物理学Ⅱ	3後		2			○			1					
	無機生体材料化学	3前		2			○				1				
	蛋白質工学Ⅱ	3後		2			○				1				
	医薬品科学	3後		2			○			1					
	微生物化学	2後		2			○				1				
	生体材料化学	3前		2			○							兼2	
	無機固体化学	3前		2			○			1					
	不斉合成化学	3後		2			○					1			
	高分子化学	3後		2			○			1	1				
	放射線安全利用工学及び実験	3前		2			○			1					
	工学倫理	3前		2			○							兼1	
	生物機能工学イターンシップ	3前		2					○	1					
	小計(47科目)	—	66	36	0	—			8	8		8	1	兼4	
教科に関する科目	職業指導概説Ⅰ	4前			2	○								兼1	
	職業指導概説Ⅱ	4後			2	○								兼1	
	小計(2科目)	—			4	—								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 教職に関する科目	教職論	1後			2	○									兼1
	教育学概説	1後			2	○									兼3
	学校教育心理学	1前			2	○									兼1
	教育の制度と社会	2前			2	○									兼1
	人権・同和教育	1後			2	○									兼1
	カリキュラム論	2前			2	○									兼1
	中等理科教育法ⅠA	3前			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅠB	3前			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅡA	3後			1	○									兼1
	中等理科教育法ⅡB	3後			1	○									兼1
	特別活動論	2前			2	○									兼1
	学習指導論	2前			2	○									兼1
	学習指導心理学	2前後			2	○									兼1
	教育評価・測定	2後			2	○									兼1
	生徒指導論Ⅰ（教育相談・進路指導を含む）	2後			2	○									兼1
	教育相談論B	3前			2	○									兼1
	生徒指導論ⅡB	2後			2	○									兼1
	総合演習	3前			2		○								兼1
	教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	4前			1			○							兼1
	教育実習Ⅴ（高等学校）	4前			3				○						兼1
小計（20科目）	—	0	0	36	—									兼22	
合計（345科目）		—	82	572	42	—			8	8		8	1	兼298	—
学位又は称号		学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>教養教育科目と専門教育科目のそれぞれの条件を満たし、合計して126単位以上修得すること。 ただし、履修科目の登録の上限は年間48単位とする。</p> <p>○教養教育科目 以下の条件を満たして32単位以上修得する。 必修科目8単位 ガイダンス科目2単位 情報処理入門（情報機器の操作を含む）2単位 英語（工学部）2単位 英語（ネイティブ）2単位</p> <p>選択科目：主題科目6単位（3つのグループにわたること） 個別科目4単位 外国語科目の英語科目のうち4単位（2科目） その他の外国語科目の選択科目から4単位 上記の他、主題科目・個別科目から6単位</p> <p>○専門教育科目 以下の条件を満たして94単位以上修得する。 必修科目74単位 専門基礎科目8単位 専門科目66単位 選択科目：専門科目20単位</p>							1学年の学期区分		2学期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						